

九 中國各地の対日ボイコット問題

(別紙)

682 昭和3年5月15日 在上海加藤商務參事官代理より

田中外務大臣宛

中國の排日貨運動とその対策について

(5月23日接受)

商機密第一二五号 昭和三年五月十五日

上海駐在商務參事官代理

副領事 加藤 日吉(印)

外務大臣男爵 田中 義一殿

支那ノ排貨運動ト其対策ニ關スル件

本件ニ付テハ本日商第二四号弊電ヲ以テ概略打電申上ゲ置キタルガ詳細別紙ノ通り當方意見取纏メ御報告申上グルニ付御查閱相蒙リ度

尙ホ排貨対策トシテノ金融問題等将来排貨運動進行ヲ見極メタル上其実現方ニ付御高配相蒙度

右御報告申上グ

一、排貨運動発生ノ時期
現在山東出兵及ビ濟南事件ニ刺戟セラレ排日運動支那各地ニ蔓延シ之ニ隨伴シテ排貨運動即チ所謂經濟絶交ノ氣運漸ク擡頭シツツアリ

固ヨリ排貨運動ノ直接動機ハ山東出兵並濟南事件ニ在ルモ将来國民軍ノ北伐完成ニ連レ曰ク滿蒙問題曰ク關稅增徵曰ク條約改正等前途幾多ノ難問題ヲ控ヘ居ル事ナレバ支那南北何レガ其局ニ当ルトシテモ早晚何等カノ機會ニ於テ排日風潮ノ危險ハ多分ニ潜在セルモノアルガ如シ

二、排貨運動ノ経過

從来排日排貨運動ノ推移経過ヲ見ルニ大凡左ノ如シ

第一期 市民外交後援会、各路商界連合会其他種々雜多ノ團體出現シ大会ヲ催シ或ハ遊行ヲ行ヒ氣勢ヲ揚グ

此間二週間乃至三週間

第二期 経済絶交委員会ヲ組織シ日貨検査員ヲ派出シ各

商業團体ニ付日貨ノ在荷、約定、未着品等ヲ検査或ハ登録等ヲ強要ス
本検査或ハ登録ハ徹底的ナル事ヲ得ザルハ勿論支那商中ニハ適宜契約書ヲ作成シ帳簿尻ヲ合ハシ或ハ金錢ノ釀出等ニヨリ都合ヨク其場ヲ取締フヲ常トス此間約二週間位

第三期 一定期日ヲ限り支那汽船及び日本汽船へ不積、通関業者ノ日本品取扱中止、各棧橋倉庫等ニ見張人ヲ設置シ違反品ノ沒収抑留甚ダシキニ至リテハ燒錢等ヲ行ヒ又在留日本人ヘノ食料其他日用品不売同盟、紡績工場職工ノ罷業、家庭傭人ノ罷業等ヲ強制實行セシメ市場商取引全然停止サル
此時期ニ及ビ事態ハ最モ悪化シ暴行沙汰、衝突事件等ヲ得テ發生シ易シ此間一、二ヶ月

第四期 漸次險惡氣分薄ラギ蔭ニ弗々商談引合ヲ見ルニ至ル此期間約二週間乃至一ヶ月間繼續シ一般空氣緩和ニ向ク

即チ以上ノ経過ニ見シバ最初排貨氣勢揚ゲラレテヨリ實際排貨實行迄約一ヶ月ヲ要シ夫ヨリ絶頂險惡期ヲ経テ恢復

第一ニ北伐軍ハ比較的順調ニ進行シツツアリ天津、北京ヲ占領シ所謂軍閥ノ本拠ヲ覆没スルニハ今一押功ヲ閻軍或ハ馮軍ニ奪ハルル虞モアリ一日モ猶予

出来ザルモノアリ

第二ニ從来南京政府ヨリ極端ニ圧迫セラレタル過激共産党ハ對外問題ヲ提ゲテ政府當局攻撃ノ具ト為シ

此際民衆運動ノ影ニ潛入シ昔日ノ勢力ヲ回復セント策シツツアル事ハ蔣介石一派即チ南京政府當局ニトリ最モ大ナル脅威ナリ

第三、從来ノ排日運動ハ常ニ永続セズ何時モ竜頭蛇尾ニ終レリ殊ニ一九二七年六月第一次山東出兵反対

ヲ動機トシ發生セシ上海地方排日風潮ノ際ノ如キ紗布交易所ノ綿糸取引或ハ砂糖取引ノ如キ財界ヲシテ大混乱ニ陷レ為メニ商民ノ政府當局ニ對スル感情ヲ損ヒ排日ヲ種ニ行ヒタル軍資金ノ強制調達ノ如キモ却ツテ結果面白カラザリシモノアリ

現在北伐完成期ニ近ヅキ軍事公債捲煙國庫券等發行計画モアリ商民側ノ内心好マザル排貨運動ヲ煽動スルガ如キハ策ノ得タルモノニ非ズ等種々ノ事情ヨリスレバ今回ノ排貨運動ハ支那當局ニトリテモ多分ニ危險性アリ特ニ我日本ノ態度強硬ナルニ鑑ミ矢鱈ニ民衆ノ對外感情ヲ煽リテモ却ツテ外交上自繩自

縛トナル虞アリ自然官憲ノ取締リモ從来ニナキ嚴重振りヲ示シ居ル次第ナリ

次ニ經濟上ヨリ觀察スルニ

第一、上海ニ於テ仮リニ日本關係商品ノ輸出入ヲ絶滅シタリトセバ南京政府ハ付加稅收入ニ於テ月約四十八万弗ヲ失フ事トナル若シ是ニ漢口、廣東、福州、廈門其他諸港ノ分ヲ加算スル時ハ付加稅月額約六十万弗ニ達スベシ

付加稅收入ハ所謂二五國庫券ノ担保トナリ居リ夫ガ主要ナル北伐軍資金トナツテ居ルノデアルガ若シ付加稅收入激減セバ庫券償還渋滞シ庫券価値下落シ国民政府ノ財政上大打擊ナラン

第二、輸入方面ニ付見レバ例ヘバ石炭、工業製品等本邦品輸入杜絕セバ紡績生糸工場其他主要工業著敷ク打擊ヲ受ケ生產品嵩ミ所謂國貨發達セズシテ却ツテ高価ナル歐米外國品ノ輸入競爭ヲ容易ナラシムベシ輸出品方面ニテハ日本ヲ以テ殆ンド唯一顧客トスル麁、棉実、菜種及粕類等上海ノ主要產品ハ空ジリ堆積ニ委ネルノ外ナカルベシ

又邦人關係上海地方工業例ヘバ紡績製品ヲボイコットセバ上海綿糸布生産ノ約半分ヲ失フ事トナリ支那紡績製品ハ異常ノ高値ニ釣上ゲラレ支那紡績業者トシテハ有利ナルモ一般消費者ハ其丈不必要ニ高価ヲ支払ハセラレ一面日本紡績工人約六万其関係者ヲ合シ約二十万人ヲ糊口ニ窮セシムル事トナラバ社會の大問題ナリ

縱令一時ハ彼五・三十事件當時ノ如ク休業手当ヲ支給シテ糊塗シ得ルヤモ知レザレド久シキニ涉ル時ハ工人側到底満足セザル可ク而シテ最モ恐ル可キ共產派ノ活動ニ機會ヲ与フル事トナラン殊ニ在留邦人家庭使用人ハ恐ク万余ニ上ル可ク此等ニ對スル脅迫罷業ノ如キ紡績工人以上ニ其処置困難ナル可ク

其他船会社、倉庫棧橋ノ罷業ハ是等關係工人數万ヲ失業ニ陥レル結果トナリ特ニ交通不便ノ支那ニ於テ日本汽船ヲ拒絶スル事ハ支那人自身ニ於テナル不便アラン

要スルニ上海ニ於ケル以上邦人關係支那人ヲ相当

右事情ヲ考慮スレバ一時感情ニ任セテノ經濟絶交ノ氣勢ハ之ヲ揚ゲ得可キモ永続性ニ乏シク而カモ永延ケバ永延ク丈支那側ニ於テ其害痛切ナルモノアリト謂フ可シ尚ホ現在支那人中ニハ支那ニシテ若シ日本ニ對シ經濟絶交ヲ行ハンカ日本ノ對外貿易ハ絶大ノ打擊ヲ蒙リ日本ノ産業ハ破滅ノ苦境ニ陥ル可シト考ヘ居ル向多シ是ハ甚シキ誤解ナリ

試ミニ一九二七年日本ノ對外貿易中其對支貿易ノ地位ヲ見ルニ左ノ如シ

	(単位一百万円) 輸出入総計		
日本総輸出 内支那へ輸出 (関東州、香港) 百分率	一、九九二 日本総輸入 四九二 内支那ヨリ輸入 (一七九 三六〇 八五二 二五%)	二、一七九 四、一七一 三六〇 八五二 一七% 二〇%	一、九九二 日本総輸出 四九二 内支那ヨリ輸入 (一七九 三六〇 八五二 二五%)

即チ支那貿易ハ輸出ニ於テ二五パーセント輸入ニ於テ十七パーセント輸出入合計ニ於テ約二〇パーセントヲ占ムルニ過ギズ而シテ支那ヨリ日本ヘノ輸出品ノ大宗タル豆粕其他粕類ハ肥料トシテ普ク使用セラレ居ルモノナルモ近年需要ノ趨勢ハ寧ロ割安ナル硫安ニ移ラントスル傾向アリ其他支那人ノ口癖ノ如ク称スル鐵、棉花ノ供給ヲ杜绝スルニ付テハ我国トシテ殆ンド何等ノ痛癪ヲ感ンゼズ何故ナレバ現在是等ノ輸入關係ヲ見ルニ鐵並ニ鐵鉱輸入額一億四千万円中支那品ハ一千四百万円即チ一〇パーセントヲ占ムルニ過ギズ又棉花ハ輸入額六億二千万円中支那品四千九百万円即チ約八パーセントヲ占ムルニ過ギズ而モ鉄ト謂ヒ棉花ト謂ヒ支那以外ヨリ充分供給ヲ受ケ得ルモノアルヲ以テナリ

又支那ヘノ主要輸出品タル棉製品ハ本邦総生産額約六億万円トシテ対支輸出約二億万円即チ約三割ニ相当シ其杜郎モノナルガ是等ノ輸出季節トシテハ秋十月ヨリ翌年四、五月ニ至ル間最モ旺盛ニ夏期頗ル閑散ナルモノアリ次ニ上海地方ハ総額ノ二割一分ヲ占メ居ルガ其内容ハ棉花、菜種、苧麻、獸皮、繭、鶏卵、胡麻、粕類等主要品ト為シ大体ニ於テ秋季ヲ其輸出時期ト為ス而シテ上海ノ輸出品中約六割ハ長江上流各地產品ニシテ上海ヲ中継港ト為スマノナリ天津ヨリ日本向ノ主要品ハ棉花ニシテ約六割ヲ占メ其他鶏卵、牛皮、雜穀等アリ青島ハ落花生、鷄卵、牛皮等アルガ輸出品全体トシテ見ル時ハ其大部分ガ農產品タル關係上季節トシテ十月頃ヨリ翌年上半期ヲ最盛時期トシ夏季ニ於テ閑散ニシテ而カモ満州特產品ノ如キハ特種ナル關係ニ在ルコトトテ俄カニ一般排貨運動ノ影響ヲ受クルコト僅少ナレバ自然全体トシテ其打撃程度案外輕微ナルコトヲ得ルモノナラン

次ニ輸入品ニ於テハ上海ハ総日本品輸入額ノ三割六分ニテ第一位ヲ占メ居ルガ其内主ナルモノヲ棉糸、綿布其他織物類約五〇パーセントヲ占メ石炭、砂糖、海產物、紙

絶ニ因ル影響固ヨリ僅少ニ非ルモ一方円為替ノ低落ヲ利シ販路開拓ニ努力セバ印度、アフリカ等ニ於テ相當需用ヲ喚起シ得ル事必ラズシモ望ナキニ非ズ要スルニ支那ノ對日經濟絶交ニ因リ危險ニ瀕スルガ如ク斯ク我国現下ノ產業ハ基礎薄弱ノモノニアラズ

四、排貨實行ト其打擊程度

上海ヲ中心トン主トシテ国民政府管下ニ於テ排貨運動ガ實行セラルモノト仮定シ彼我兩國貿易上ニ及ボス可キ影響程度ヲ考察スルニ是ニハ先づ貿易ノ地方的關係ヲ研究スルノ要アリ即チ

現在我国對支貿易ノ分布狀態ノ概況ヲ見ルニ左ノ如シ

合 計	地 方 別	(拠一九三六年海關報告 単位百万両)		
		本邦品輸入	支那品輸出	輸出入合計
三五〇	上海	一二六	三六	一二六
一一七	天津	一六	五	二一
一〇〇	漢口	三六	一〇	三六
六五	青島	二六	七	三三
二五八	天津	一〇八	一〇	一一八
八三	滿州(大連、營口、安東)	一〇	五四	一五四
一〇〇	廣州	二六	一〇	三六
六五	其他	一七	五	二二
一〇〇	各	一七	一	一八〇
二五八	東	一四八	一	一五七
八三	計	一一五	一	一一五
一〇〇	廣	一四八	一	一四八
四一	青	一一五	一	一一五
六〇八	天	二五六	三九	三九
二九	漢	二〇	六五	三六
一〇〇	廣	四二	一一	三〇
五三	青	六	三	三〇
一〇〇	天	三三	一	三三
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三六	一	三六
一〇〇	天	三六	一	三六
五三	漢	三六	一	三六
一〇〇	廣	三六	一	三六
五三	青	三		

貨終了見越ノ註文ヲ発スル事トナルヲ普通トシ従ツテ排

貨ノ為不利ヲ蒙ルモノハ見越取引ヲ為ス資力ナキ一部商人ト不便ト高価ナル消費ヲ余儀ナクセラル一般民衆ニ

シテ一部支那商ハ却ツテ奇利ヲ博スル事トナリ大局ニ於

テ我対支貿易ノ蒙ル打撃ハ案外輕微ニ済ムモノナリ

總而之ヲ言ヘバ我対支貿易ハ大体月別額輸出四千万円輸

入三千万円ニシテ輸出主要品トン中部支那其他地方向綿

製品ガ九月ヨリ二月頃増加シ輸入主要品タル満州ノ豆粕

類ノ季節ガ十月ヨリ翌年五月迄ニ在ル関係ヲ考慮ニ入レ

六月頃ヨリ相當深刻ナル排貨實行セラルモノトシテ貿

易ノ打撃予想額毎月平均輸出約一千五六百万円輸入七八

百万円位ナルベシ

五、排日排貨対策

第一、生命財産ノ保護

排日排貨ノ対策ニ付テハ時ト場合ニ依リ一樣ナラザル

可キモ大別シテ排日暴行等ニ處スル外交或ハ軍事的手

段ヲ主トシテ排貨ニ處スル經濟的対策ニ分タル可キガ

排日暴動ニ対スル方策トシテハ支那ニ於ケル邦商活動

区域ヲ分チ危險ノ虞切迫ノ際迅速ニ安全個所ニ引揚ゲ

二、京津一帯
即チ在支邦人ヲ左ノ通り取纏メルヲ要ス
事
三、滿州地方
是ハ殆ンド動搖少カル可キヲ以テ當分現状維持ノ
事
四、長江上流地方
漢口日本租界ニ引纏メル事
五、長江下流地方
上海ヘ引纏メル事而シテ漢口、上海ノ交通ハ絶対
ニ必要ナレバ海軍ノ保護ノ下ニ日清汽船ヲ以テ當
租界ヘ引纏メル事
六、南支沿岸地方
福州、廈門、汕頭等ハ便宜軍艦ニ収容シ廣東、沙

面ニ又事態ニ依リテハ香港ヘ引揚ゲル事

以上ノ如クシテ徐ロニ形勢ノ推移ヲ觀望ス可キデア
ルガ茲ニ注意ヲ要スルハ在留民中ニハ引揚ノ旅費或

ハ避難中ノ宿泊料等ニ窮スルガ如キ向可也多ク又造
作、家賃、家具等ニ於テ直接間接損失少ナカラザル

可キヲ以テ是等ニ対シテハ当局トシテ適當限度ニ於

テ金融其他ノ便宜ヲ講ズル事必要ナルベシ

又避難地例ヘバ上海、漢口等ニ於テハ警備ヲ嚴ニシ
殊ニ上海ノ如キニ在リテハ其居住ガ縱令租界外或ハ

接壤地域タルノ故ヲ以テ緊急ノ場合直接且ツ自由ニ

我軍隊ノ保護ヲ急派シ得ザルガ如キ事アリテ折角ノ

保護モ充分効果ヲ挙ゲ得ザル場合ナシトセズ

既ニ生命財産ノ危険至ルモノアラバ断乎トシテ租界

外若クハ接壤区域ニ拘泥セズ積極的行動ヲ執ルノ要

アリ又其丈ノ実力ヲ配備シ置ク事肝要ナリト思ハル

第二、排貨ニ対スルノ措置

支那商人が真ニ自發的ニ排貨ヲ實行スルモノトセバ

其ニ対シ施ス可キ策ナキニ似タレドモ支那ノ排貨運

動ハ政客学生等ニヨリ煽動セラレ商人ハ之ニ引摺ラ

ヲ行フ事肝要ナリ

即チ在支邦人ヲ左ノ通り取纏メルヲ要ス

一、滿州地方

是ハ殆ンド動搖少カル可キヲ以テ當分現状維持ノ
事

二、京津一帯

是ハ天津ガ既ニ國民軍ノ占領スル所トナリ戰禍及
ババ勿論ノコト排日排貨運動ニ迄面セバ天津日本

租界ヘ引纏メル事

三、山東地方

青島ニ引纏メル事

四、長江上流地方

漢口日本租界ニ引纏メル事

五、長江下流地方

上海ヘ引纏メル事而シテ漢口、上海ノ交通ハ絶対
ニ必要ナレバ海軍ノ保護ノ下ニ日清汽船ヲ以テ當

租界ヘ引纏メル事

六、南支沿岸地方

福州、廈門、汕頭等ハ便宜軍艦ニ収容シ廣東、沙

七、長江下流地方

上海ヘ引纏メル事而シテ漢口、上海ノ交通ハ絶対

ニ必要ナレバ海軍ノ保護ノ下ニ日清汽船ヲ以テ當

八、南支沿岸地方

上海ヘ引纏メル事而シテ漢口、上海ノ交通ハ絶対

ニ必要ナレバ海軍ノ保護ノ下ニ日清汽船ヲ以テ當

九、長江下流地方

上海ヘ引纏メル事而シテ漢口、上海ノ交通ハ絶対

ニ必要ナレバ海軍ノ保護ノ下ニ日清汽船ヲ以テ當

十、長江下流地方

上海ヘ引纏メル事而シテ漢口、上海ノ交通ハ絶対

ニ必要ナレバ海軍ノ保護ノ下ニ日清汽船ヲ以テ當

十一、長江下流地方

上海ヘ引纏メル事而シテ漢口、上海ノ交通ハ絶対

ニ必要ナレバ海軍ノ保護ノ下ニ日清汽船ヲ以テ當

十二、長江下流地方

上海ヘ引纏メル事而シテ漢口、上海ノ交通ハ絶対

ニ必要ナレバ海軍ノ保護ノ下ニ日清汽船ヲ以テ當

十三、長江下流地方

上海ヘ引纏メル事而シテ漢口、上海ノ交通ハ絶対

ニ必要ナレバ海軍ノ保護ノ下ニ日清汽船ヲ以テ當

十四、長江下流地方

上海ヘ引纏メル事而シテ漢口、上海ノ交通ハ絶対

ニ必要ナレバ海軍ノ保護ノ下ニ日清汽船ヲ以テ當

十五、長江下流地方

上海ヘ引纏メル事而シテ漢口、上海ノ交通ハ絶対

十六、長江下流地方

上海ヘ引纏メル事而シテ漢口、上海ノ交通ハ絶対

石炭、工業薬品等の代用品少キ必需品ノ除外

主要輸出商品例へバ粕類、麩等ニ対スル特別取扱ヒ
支那労働者関係ノ日本人工場製品ニ対スル条件等

寄々攻究中ナルガ如シ
是等諸運動ノ抑制ハ困難ナルモ若シ日本品ノ抑留、

没収、焼却、倉出積卸ノ看視等ヲ実行スルコトニ依
リ邦人ノ利益ヲ侵害スルガ如キ事態ヲ発生スルニ至

ラバ嚴重ナル抗議ヲ為スハ勿論上海港内、租界内或
ハ租界接壤地等ニ於テ発生セシ場合ニハ躊躇スル所

ナク断乎トシテ匡正スルヲ要ス

又一種報復手段トシテ石炭ノ如キ我方ヨリ不売ヲ断
行スルモ一方法ナルベキガ寧ロ出来得ル限り黙殺主

義ヲ執ル事得策ナル可ク縱令姑息ニハ相違ナキモ目
立チタル包装ヲ避ケル等モ不得已手段ナル可ク又排

貨中ハ關係諸物価異常ニ昂騰スルモノナレバ當業者
トシテハ現物主義ヲ以テ之ニ対スル要アルガ其結果
ハ自然金融ニ困リ金利、倉敷、戦時保険等ニ惱マサ
ルル事トナル
サレバ是等排貨期中持久策トシテノ繫ギ取引ニ対シ

行スルモ一方方法ナルベキガ寧ロ出来得ル限り黙殺主

義ヲ執ル事得策ナル可ク縱令姑息ニハ相違ナキモ目
立チタル包装ヲ避ケル等モ不得已手段ナル可ク又排

調査委員分担調査ス(5)民衆団体ヲ回復シテ排日運動ニ参加
セシム但シ共産党ノ加入ハ嚴重防止ス(6)大々的排日宣伝ノ
為宣伝隊ヲ組織ス(7)経費ハ寄付募集ニ依ル等ノ各項ヲ決議
シタルニ付テハ何レモ利ニ敏キ総商會員ニシテ對外後援会
ヨリ無理強ヒニ押立テラレタルモノナレハ声ノミ大ニシテ
熱ハ無キモノノ如シ
北京、上海へ転電セリ

684 昭和3年5月19日 在廈門坂本領事より
田中外務大臣宛(電報)

廈門において事実上対日經濟絶交実現せられ
つつある状況について

廈門 5月19日後発

本省 5月19日後着

第六二号

当地官憲ノ取締依然嚴重ニテ去ル十四日入港ノ商船荷役中

一部排日団ノ為苦力突如之ヲ中止シタルニ対シ之ヲ強制シ
テ荷役ヲ完了セシメ昨日來漸々激越ナラムトスル学生ノ路
上講演ヲモ禁遏シ居ル処日々挑發的且出任セ的ノ上海電報

テハ關係銀行業或ハ船会社倉庫保険業等ニ於テ特別
維持便法ヲ講ズル要アリ
即チ政府ニ於テ特別低利ナル銀資ヲ以テ上海ヲ中心
トシ長江其他中心市場トノ間ニ臨時の倉庫金融ノ途
ヲ圖ル事ハ最モ適切ナル施設ナリト思フ

(一九二八一五一四 副商務官 加藤日吉)

683 昭和3年5月16日 在漢口高尾總領事より
田中外務大臣宛(電報)

漢口における対日經濟絶交委員会の決議事項

について

漢口 5月16日後発

本省 5月17日前着

第一九四号

対日經濟絶交委員会ハ十五日第一回會議ヲ開キ(一)名称ハ武
漢民衆對日經濟絶交委員会ト改ム(二)先ツ専門調査委員ヲ設
ケテ日貨國貨ノ現状ヲ調査シ經濟絶交後ノ計画ヲ改ム(三)実
施期日及方法ハ中央政府ノ政策ヲ規準トシ過激ノ手段ニ依
リテ外交ヲ妨害セサルコト(四)武漢ヲ九区ニ分チ九名ノ専門

統々諸新聞ニ報道セラレ學生團亦官憲ノ眼ヲ掠メテ各所ニ
「ピラ」ヲ撒布シ「ポスター」ノ貼付ヲナシ一般民衆ハ知
ラス知ラスノ間ニ對日惡感情ヲ抱クニ至リ市党部一派ノ排
日運動(自發的經濟絶交)モ暗々裡ニ再興シ商人亦四閑ノ
情勢何トナク不安ヲ感シ當地經濟界異常ノ不景氣ト相俟テ
本邦品ノ取扱ヲ手控セントスルノ状顯著ニ看取セラレ事實
上対日經濟絶交実現セラレントシツツアリ
北京、上海、福州へ転電シ汕頭、南京、廣東、香港、台灣
總督へ暗送セリ

685 昭和3年5月23日 在廣東森田總領事より
田中外務大臣宛(電報)

廣東における排日悪化の状況について

廣東 5月23日後発

本省 5月24日前着

第九九号

当地官憲ハ經濟絶交委員会及糾察隊ノ組織ヲ許可セス民衆
ノ集会游行其ノ他排日的越軌行動ヲ嚴重取締リツツアル為
未タ日貨排斥具体化セサルモ市民ノ排日思想ハ濟南事件以

來日ニ悪化シツツアリ市党部学生連合会等中心トナリ支那

商ニ対シ自發的經濟絶交ヲ慾懃シツツアル結果支那商ノ警戒ニ依リ日本品ノ註文取引減少シ台灣糖麥粉金物化学药品織物ハ五割減海產物ハ七割減硫安及麦酒ハ二三割減ヲ示シ

「セメント」大豆豆粕ハ全然買控ヘ石炭ハ却テ好況ヲ示セリ又日本人經營ノ倉庫在庫品中支那人荷物ハ全部出払ヒナルモ昨今支那商ノ原品買漁リ杜絶エ目先陰惡ナリ

又日本品ノ輸入ヲ禁止ス

686 昭和3年5月23日 在汕頭別府領事より
田中外務大臣宛（電報）

汕頭総商会反日委員会の成立ならびに排貨実行決議について

汕頭	5月23日後発
本省	5月25日後着

第三五号

往電第三四号ニ関シ

総商会反（日）籌備委員ハ昨二十二日第一次会合ヲ催シ本月二十五日ニ商業各団体ヲ召集シ正式ニ汕頭商会反日委員会ヲ成立セシメ同時ニ左記方法ニ依リ排貨ヲ実行スヘキ旨

687 昭和3年5月29日 在廣東森田總領事より
田中外務大臣宛（電報）

前電ノ通転電セリ

右總商会反日委員会ハ四開ノ状勢ニ引摺ラレ成立ノ運ニ立至レルモノニシテ現ニ日貨ノ自動抵制ヲ声明セルカ如キ又糾察隊ヲ排除シ第四ノ如キ弁法ヲ採ラムトスルカ如キ将又日貨ニ閂スル除外例ヲ設クルカ如キ大体ニ於テ微温的ノモノナルカ如キモ形勢ノ推移監視中ナリ

五、石炭、磷寸、硫酸、薬剤等ハ必要品ニシテ禁止外ニ置ク事

廣州特別市党部主催の第三次代表大会において
対日經濟絶交弁法を決議について

廣東 5月29日後発
本省 5月30日後着

第一〇五号

往電第一〇三号ニ関シ

一、市党部主催の第三次各会代表大会ハ昨二十八日対日経済絶交弁法十二条（要領左ノ通）ヲ決議シ即日之ヲ各会ニ通牒シテ一律遵守ヲ求ムルト共ニ右弁法実行ノ結果失業スヘキ工人ノ救濟法ニ関シテハ市党部執行委員ニ付託ス

(一)日本籍ノ銀行ト取引スヘカラス預金ハ速ニ引出スヘシ

(二)日本人ヲ相手トスル貨物ノ売買ヲ停止スヘシ

(三)日本品ノ輸入ヲ禁止ス

三、弁法ノ主ナル条項左ノ通

(一)日本籍ノ銀行ト取引スヘカラス預金ハ速ニ引出スヘシ

(二)日本人ヲ相手トスル貨物ノ売買ヲ停止スヘシ

(三)日本品ノ輸入ヲ禁止ス

議決セリ

一、既ニ註文済日貨ニシテ今後來汕スヘキモノハ支那側商人ニ損失ヲ及ホササル限り日本契約先ニ返還スル事

二、今後到着スヘキ日貨ニ付テハ契約ノ時期、汕頭到着ノ期日ヲ報告スル事、期日経過セハ無効トス

三、各商舗ノ在庫品ハ品名、商標、数量ヲ報告スル事

四、日貨ノ販売ニ付テハ同業者間ニ於テ相互ノ取締ヲ為シ罰則ヲ制定スル事

688 昭和3年5月30日 在長沙糟谷領事より
田中外務大臣宛（電報）

長沙における排日貨の状況について

長沙 5月30日後発
本省 5月31日前着

第四三号

各方面ノ排日宣伝ニ迷ハサレ今次外交後援会ノ対日経済絶交運動ノ真相ヲ看破スルノ冷静ヲ欠キ既ニ一部商人間ニハ後援会ニ対スル氣兼ヨリ邦人ノ買物乃至邦人貨物ノ運搬ニ応セサル向モ出テ来リ斯テハ邦人ノ衣食住ニモ不自由ヲ來ス虞アルノミナラス其ノ間何等誤解ノ發生モ氣遣ハレタルヲ以テ本官ハ重ネテ交渉員ニ対シ至急取締方要求スル処アリ之ニ対シ交渉員ハ即刻現ニ猶省主席タル陳嘉祐ニ移牒シ陳ヨリ邦人ノ生命財産保護ニ全責任ヲ持ツ事並省党部指導委員会ヲシテ嚴ニ指導取締ヲ為サシムル明答ヲ得タル趣ナリ

何レ本件取締並邦人ノ生命財産保護方ニ付テハ本官ハ出来得ル限り速ナル機会ニ於テ魯滻平（魯ハ本三十日清鄉督弁ニ六月二日省主席ニ正式就任スル筈）ニ会見ノ上篤ト申入

ル所存ナルカ漢口總領事ヨリノ累次ノ電報ニテモ御承知ノ通武漢政治分会署要人ノ対日感情ハ大体良好ニシテ又一般商民ニ於テモ元々排日貨等ハ願ハサル處ナルヲ以テ今後支那側当局ニ於テ誠意アル取締ヲ実行スル以上之上ノ悪化ヲ見ル事ハ万ナカルヘク尚此ノ種地方ニ於ケル排日風潮ノ

689 昭和3年6月13日 在広東森田總領事より 田中外務大臣宛（電報）

北京、漢口ニ転電シ上海、南京へ暗送セリ

緩和策トシテハ之カ伝播ノ系統今差当リ（南京政府ノ威令カ徹底スルヤ否ヤハ別トシテ）御膝元上海方面ノ排日運動弾圧カ先決問題カト存セラル 尚排日運動ノ擡頭ニ依ル影響ハ日清最速ニ最大ニ漢口当地間定期船貨客殆ントナシ

第一一七号
不能に陥れる原因について

廣 東 6月13日後発
本 省 6月14日前着

一、市党部ヲ中心トスル各界対日経済絶交委員会ハ其ノ後商人側ノ反対ノ勢ニ掣肘セラレ設立以来何等積極的活動ノ機ヲ得サリシカ最近往電第一〇九号ノ共產党符以来官憲ノ排外的越軌行動取締嚴重ヲ極メ昨同委員会ハ有名

無実ノモノト化セリ

二、從テ日貨ノ輸入ハ從前通何等支障ナク商人ノ警戒ニ依リ五月下旬中一時新規商談殆ト杜絶ノ姿ナリシモ昨今形勢ヲ挽回セリ当地入港ノ命令航路船三隻ハ積荷激減シ輸出貨物皆無ノ状態ナルモ近ク恢復ノ見込他ノ不定期航（月平均十五隻乃至二十隻）ハ当初ヨリ何等影響ヲ受ケ居ラス現品取引及在庫品荷動ノ状況ハ大体往電第九九号

690 昭和3年6月14日 在漢口高尾總領事より 田中外務大臣宛（電報）
厦门、汕头、香港へ暗送セリ

第三、委員会ノ活動不能ニ陥れる原因左ノ如シ
（1）総商会ヲ中心トスル往電第一〇三号末段ノ廣東商会経済絶交会ハ当初ヨリ經濟絶交ハ商人ノ自由意思ニ依ルヘキモノナリト主張シ学生工人等ノ干渉排除ノ態度ニ

出テ委員会開催ノ度ニ代表者ヲシテ反対意見ヲ出サシメ委員会内部ヲ不統一ニ陥ラシメタルコト

（2）五商会代表者ハ委員会ノ不統一トナレルニ乗シ本月二日省政府ニ対シ委員会ハ官憲ノ公認セルモノナリヤト詰問シ省政府ヨリ将来トモ之力設立認可ノ意向無キ旨ノ言質ヲ得往電第一〇五号經濟絶交弁法第五項ノ現存日貨ノ調査及封印ニ極力反対シ遂ニ之カ実行ヲ不能ナ

(二)邦人紹総ハ七月迄ノ製品大部分販賣ヨリニテ北支那長江奥地向ケ荷捌ケ弗々乍ラ継続サレ手持少ナケレハ比較的の渠ナ地位ニハ在ルカ製産ノ約半分ハ二十番手以下ノ太

六月五万三千噸ニ及シ六月二万八千噸ニ及シ又南洋方面積荷皆無トナレリ商船ノ如キ近ク南洋廻船ヲ停止ノ意向アリ

(一) 海運 沿岸並ニ長江航路ニ於ケル本邦汽船ニ対スル支那人積荷ハ平時ニ較ヘ五月中出荷七割減入荷五割減六月中出荷殆ト無ク入荷七割減尤モ邦人積荷亦大イニ減少シ居リ関係各社打撃甚大對日本輸出荷物六月中約三割見当減少シ日本ヨリノ輸入荷物五月五万二千噸(略常態)又昨

當地非貨運動

本省 7月11日後着

692
昭和3年7月11日 在上海加藤昌敏事より
田中外務大臣宛（電報）

在上浦加處領事より
田中外務大臣宛（電報）

昭和三年七月十一日
在外務大臣宛（電報）
在上海加賈富領事より

物ニテ是等ハ支那紡製品ノ由追アレハ此ノ儘ニ推移セバ
今ヨリ来月ニ掛ケ相当滯貨ヲ免カレサルモノト見受ケタ

九月三十日

支那ニ避ケサルヘカラス云々

元ニ在リ党部ノ力量ヲ以テ政府ノ職権ニ干渉スルカ如キハ

以テ主體トニシ党ノ主義政策ニ以テ民衆ニ善導スヘシ個人ニ民衆ニ恩ヲ売ルカ如キコトハ排斥スヘシ党ノ職責ハ清

济南事件ノ如キ不祥事件無カリシニ相違無シ我等ハ党ヲ
主体、ナノ党ノ主義政策ヲ以テ民衆ヲ尊算スヘク固ム

全員が党規ヲ守リ中央ノ意思通り行動シタランニ

警告文民国田報社説欄ニ發表サレタルカ大要左ノ通

更ニ本二十一日各地党務指導委員ニ告クト題スル何應欽

女スルカ如キ拳動ハ容赦無ク検挙厳罰スヘキ旨ノ布告ヲ発

対シ海軍力ヲ使用スルカ如キコト無キ様懇望ノ次第アリ

ノ如キ排日不法行動ハ今後嚴重取締ルヘキニ付排日運動

ハル支那官憲ハ多少猶猶氣味ニテ警備司今吾政治訓綱部主

綿糸布抑留事件ニ関シ我官民ノ態度頓ニ硬化セルヲ看取シ
ノ立場ニシテハ良日氣未ニニ警備司令部改台川東郡三

樣見受ケラルル処往電第四一一号黃浦江面ニ於ケル本邦

ノ多シ
北京、天津へ転電シ南京、九江、長沙、宜昌、重慶、沙市
へ暗送セリ

重処罰ノ方針ニテ目下検査隊ノ組織ニ着手シ二百人ノ隊員ヲ雇入レ是ヲ四班ニ編成シテ検査ニ関スル準備的訓練ヲ施シ居レリト云フ右ハ今後如何ニ進展スヘキヤハ遠ニ予断ヲ許ササルモ既往ノ状況ニ微シ特殊ノ事情ナキ限り単ニ一片ノ形式ニ止リ極メテ微温的活動ニ終始スヘシト観察スルモ

リ当業者頗ル苦惱シ居レリ

(四) 排貨運動ハ最近北支那滿州四川方面ノ買萌シト在支那邦

人紡績製品一部ニ対スル救国基金値下実行ニアリ表面稍

緩和ノ觀アルモ一般円滑ナル取引ヲ見ル迄ニハ後尚二ヶ

月位カカルヘク是カ根本対策トシテハ早ク撤兵シ濟南事

件ヲ解決スルコト必要ナルカ差当リ積極的ニハ不法ナル

救国基金制、檻民条例ヲ撤廃セシムルコト急務ニシテ

(現ニ総領事ニ於テ嚴重抗議中) 消極的ニハ邦商ノ苦痛

ヲ輕減シ持久力増加ノ工夫ヲ要ス即チ當業者方面ノ要望

スル処ハ

第一、手形ノ無制限延期並ニ金利引下ケ

第二、保税倉庫ノ拡張並ニ倉敷料引下ケ

第三、契約品ノ本邦積止

等アリ第三ハ内地當業者關係トナルカ第一ニ付テハ小官ヨリ当地銀行側ニ懇談セシム處銀行側ハ既着品ニ対スル金融ハ充分便宜取扱フモ是以上ノ積止実行ヲ望ミ又金利低下ハ難色アリ第二ノ点等ニ付テハ目下郵船ト話合居ルモ未タ成案ヲ得ス右御了承ノ上内地ニ於テモ関係銀行並ニ船会社方面ト手形延期ハ勿論金利倉敷等少クトモ半減方

御交渉相蒙リ度シ
北京へ転電セリ

往電第一二九号ニ閲シ

廣東経済絶交委員会ハ十六日執行委員ノ第一回臨時會議ニ於テ左ノ通日貨排斥ノ実行方法ヲ決議シ又前電ヲ以テ報告

シ置キタル日本品「ストック」ノ検査ニモ遠カラス着手スル趣ナルカ市民ノ多クハ既ニ濟南事件ヲ殆ト忘レカカリ居リ右委員会カ商人側ノ反対ヲ押切リ何ノ程度迄日貨排斥ヲ実行シ得ルヤハ疑問ナル處當館ノ調査ニ依レハ直接本邦人ノ手ニ依リ輸入スベキ日本品ニ対シテハ何等干渉ヲ行ハサル由ニテ又官憲ニ於テ對外問題ノ發生ヲ惧レ先年ノ如キ過

第一三一号

往電第一二九号ニ閲シ
廣東 7月17日後発
本省 7月18日前着

往電第一二九号ニ閲シ

広東経済絶交委員会ハ十六日執行委員ノ第一回臨時會議ニ

於テ左ノ通日貨排斥ノ実行方法ヲ決議シ又前電ヲ以テ報告

シ置キタル日本品「ストック」ノ検査ニモ遠カラス着手ス

ル趣ナルカ市民ノ多クハ既ニ濟南事件ヲ殆ト忘レカカリ居

リ右委員会カ商人側ノ反対ヲ押切リ何ノ程度迄日貨排斥ヲ

実行シ得ルヤハ疑問ナル處當館ノ調査ニ依レハ直接本邦人

ノ手ニ依リ輸入スベキ日本品ニ対シテハ何等干渉ヲ行ハサ

ル由ニテ又官憲ニ於テ對外問題ノ發生ヲ惧レ先年ノ如キ過

(一) 日本地圖ノ新規註文ヲ禁止ス

(二) 既ニ註文済ミノ日本品ハ二十日迄ニ申告登記ヲ受クヘシ
(三) 二十日以後日本品ノ輸入ヲ禁止ス
(四) 同日以降日本紙幣並手形類ノ使用ヲ禁シ又日本向為替ノ取組ヲ停止ス
(五) 二十日以後日本籍銀行トノ取引ヲ禁シ日本籍銀行ノ預金ハ速ニ之ヲ引出スヘシ
(六) 日本品ノ「ストック」ハ二十一日ヨリ三十一日迄ノ間ニ申告登記ヲ受クヘシ
(七) 前記各項ニ違反シタルモノハ現品ハ之ヲ沒收ス
北京、上海、香港、南京、汕頭、漢口、福州、廈門へ暗送セリ

商電第四九号

(一) 当地最近排貨概況

綿糸一時四川方面相當手合セアリシモ風潮漸次同方面ヘ波及ヲ警戒サレ荷捌鈍リ綿布ハ長江奥地北支那方面行五枚八枚繡子並ニ捺染物「ネル」等現物投物及格安品ヲ漁リ居ルモ約定品受渡一向撃々カラス特ニ江浙地方筋取引ハ殆ント杜絶ノ姿ナリ

石炭金物工業薬品等依然影響薄ナルモ砂糖海產物文房具其ノ他諸雜貨新規商内皆無紙類ハ新聞紙ノ如キ特殊品ヲ除キ漸次外國品ニ喰込マレツツアリ
在支工業、紡績ハ操業變リナキモ精糖休燐寸石鹼皮革硝子印刷等取引激減シ一部操短ノ外ナキニ立至レリ
(二) 現在迄ノ救国基金徵收額約六萬元ト称セラレ此ノ一部ヲ運動費トシ検査抑留威圧等愈々露骨ヲ加ヘ支那街ハ勿論租界内ニモ侵入セントスル形勢アリ總体ニ於テ未タ緩和ノ状見エサルノミカ他方今二十一日反日暴行委員会ヲ中心トシテ長江各地反日國体協議會開催中ニテ其ノ結果ハ

693 昭和3年7月17日 在廣東森田總領事より
田中外務大臣宛(電報)

廣東經濟絶交委員会の日貨排斥実行方法決議

について

昭和3年7月21日 在上海加藤副領事より
田中外務大臣宛(電報)

上海における排日貨運動悪化の状況について

不明ナルモ濟南事件交渉開始氣運條約破棄問題等ト揚ミ
排貨氣勢今一段ト悪化ノ模様アリ

695 昭和3年7月25日 在雲南中野(勇吉)領事代理より
田中外務大臣宛

雲南における排日貨運動状況について

(8月20日接受)

機密公第一〇三号

昭和三年七月二十五日

在雲南

領事代理 中野 勇吉(印)

外務大臣男爵 田中 義一殿

排日運動状況統報ノ件

濟南事変ニ端ヲ発セル当地排日運動状況ニ関シテハ本月十
三日付機密公第一〇一号拙信報告ノ通ナル處其後ノ経過ヲ
徵スルニ各界四十八団体ヲ糾合シテ成立セリト称スル雲南
反日出兵後援会ハ既報日貨登記条例ニ引続キ奸商奸民懲罰
規定並日貨商標品目調査表ヲ發表シテ益々躍起ヲ極メ糾査
宣伝隊連日ニ亘ル狂奔ニモ拘ハラズ依然格別ノ反響ナク僅
ニ市中呉服及雜貨商ノ店頭「此係仇貨暫停発售」或ハ「仇
声ヲ放ツモノ多キニ至レリ

加之他方当地商界ニ実勢力ヲ有スル廣東商人一派ハ既報ノ
如ク態度依然明カナラザリシガ後援会規定ニ係ル苛酷ナル
救国基金ハ商人ノ生活根底ヲ破壊スル不当ナルモノトシ新
ニ雲南対日經濟絶交連合会ナルモノヲ設ケテ救国基金ハ品
別ヲ問ハズ一律百分ノ一ヲ主張セル事ハ苛税ヲ怖レツツア
ル士着商人ノ贊同モアリ茲ニ同一趣旨ニシテ内容著シク異
ナレル両者ノ対立ヲ見ルノ奇觀ヲ呈シタルガ後援会側ハ右
連合会ヲ目シテ反動団体ナリト誣ヒ政府ニ之ガ解散ヲ要求
シテ彼此反目ノ機運ヲ招キタルノミナラズ其間共産党的の色
彩ヲ帶ベル救国青年団ナルモノノ暗中飛躍ヲ伝フル等物情
況ヲ

加之他方当地商界ニ実勢力ヲ有スル廣東商人一派ハ既報ノ
如ク態度依然明カナラザリシガ後援会規定ニ係ル苛酷ナル
救国基金ハ商人ノ生活根底ヲ破壊スル不当ナルモノトシ新
ニ雲南対日經濟絶交連合会ナルモノヲ設ケテ救国基金ハ品
別ヲ問ハズ一律百分ノ一ヲ主張セル事ハ苛税ヲ怖レツツア
ル士着商人ノ贊同モアリ茲ニ同一趣旨ニシテ内容著シク異
ナレル両者ノ対立ヲ見ルノ奇觀ヲ呈シタルガ後援会側ハ右
連合会ヲ目シテ反動団体ナリト誣ヒ政府ニ之ガ解散ヲ要求
シテ彼此反目ノ機運ヲ招キタルノミナラズ其間共産党的の色
彩ヲ帶ベル救国青年団ナルモノノ暗中飛躍ヲ伝フル等物情
況ヲ

愈々騒然タルモノアルヲ以テ政府モ遂ニ黙過スル能ハズ軍
警督察処長盧漢ハ治安ニ妨害アリトノ理由ノ下ニ本月十四
日以降糾査隊ノ遊行ヲ禁止スルト共ニ救国基金ノ徵収方法

ニ付嚴重ナル警告ヲ發スルニ及ビ市面漸次平靜ニ復セリ斯
クテ当地トシテハ未曾有ノ排外運動トモ謂フ可キ今次日貨
抵制風潮モ其奥ノ手ヲ封ゼラレタルニ加ヘ内紛ヲ惹起シテ
一大頓挫ヲ来セル次第ナルガ後援会ヲ招締スル政府筋二三
ノ黒幕モ存在スル事トテ今後更ニ余勢ヲ藉リテ何等カ策動
アル可キハ必然ナルモ一般ノ人氣ヨリ推察シ引続キ陣容ヲ
新ニシテ飽迄積極的行動ニ出ヅル氣力アルモノトモ見受ケ
ラレズ旁々一先ヅ一段落ヲ告ゲタルヤニ観測セラル
右報告申進ス

本信写送付先 在支公使、河内総領事

696 昭和3年7月31日 在廣東矢野總領事より
田中外務大臣宛(電報)

經濟絶交委員会による日貨検査隊組織とその
活動状況について

往電第一三〇号所報ノ日貨登記ニ對スル商人側ノ態度ヲ見
ルニ今後日貨ノ輸入ヲ制限セラルル事ニハ敢テ反対セサル
モ手持日貨ニ對スル國貨獎励基金トシテ三割ノ罰金ヲ徵セ
ラルル事ハ到底忍ヒ得スト相当強硬ニ主張シ居リ去ル二十
八日四商会連合ノ大会ヲ開催シ之カ対策ヲ討議シ政府ニ陳
情スル處アリ是迄ノ處日貨登記ノ手続キヲトリタルモノ皆
無ノ状態ナルカ經濟絶交委員会ハ之ニ对抗シテ二十八日第
七回代表大会ヲ開催シ日貨ニ對スル右三割ノ基金徵収ノ計
画ハ飽迄実行スヘキモ之カ納入ノ方法ハ登録ト同時ニ五分
登録後一ヶ月以内ニ一割二ヶ月以内ニ残余ノ一割五分ノ割
合ヲ以テ三回ニ分納ノ事トスヘシト稍讓歩シタルモ右登記
計画ノ貫徹ヲ期スル為全市ニ排日標語ヲ大書セル白布ヲ張
リ出シ又約百名ヨリ成ル日貨検査隊ヲ組織シテ之ヲ三十余
組ニ分チ各大小様々ノ旗幟ヲ押立テ一昨二十九日ヨリ三日
間ノ予定ヲ以テ全市ノ日貨検査ヲ開始セリ検査ノ実状ヲ見
ルニ各検査隊ハ日貨ノ取扱店ヲ戸別訪問シ居ルモ實際日貨

(付記)

ノ「ストック」ヲ精査スル事無ク只店員ニ対シ排日宣伝ヲ行ヒタル後入口ニ日貨大検査ナル貼紙ヲ為スノミニテ積極的行動ニ出テ居ラス從テ絶交委員会ヨリ必ス八月一日ヨリ開始スヘシト称スル日貨ノ掃蕩期モ果シテ実行シ得ヘキヤ否ヤ疑無シトセス

在支公使、上海ニ転電シ漢口、福州、廈門、汕頭、香港へ暗送セリ

697 昭和3年7月31日 在上海矢田總領事より
田中外務大臣宛（電報）

今次排日貨の永続性に鑑みその対策上申について

付記 八月一日付上海商工會議所より田中外務大臣
宛電報

南京政府に対し排日団体の即時解散を要求方
切望について

上海 7月31日後発
本省 8月1日前着

第五一九号

因カ除去サルルカ（）国民政府カ排日団体ノ解放乃至一般排貨運動禁止ヲ強行スルカ二者其ノ一カ実現セラレサル限り急ニ終熄スヘシト考ヘラレサル処（）ニ付テハ排日運動力全
国的トナリタル此ノ際我政府トシテ腰ヲ据エ極メテ強硬ナル態度ニ依リテ臨ミ條約問題等ニ関シテハ国民政府ノ反省ヲ求ムヘク此ノ機会ヲ利用シ警告ヲ發スルコト然ルヘキカ
ト思考ス

尚当地本邦実業家側ノ態度ハ排日ノ打撃大ナルニ伴ヒ六月末各商業團体ノ代表二十余名毎金曜日会合シ清水領事海軍駐在武官出席シ居ルカ最近當業者ノ苦痛加ハルト共ニ武力行使ヲ希望シ來レル狀況トナリ當地商業會議所ハ明一日我政府及主ナル會議所ノ注意ヲ喚起スル電報ヲ發スル由ナリ

政府ニ対シテハ此ノ際日本政府ノ名ニ於テ南京政府ニ排日團体ノ解散方強硬要求アリ度トノ趣旨ヲ請願スル由ナリ

北京、天津、青島、濟南、漢口、南京、廣東、福州、奉天
ヘ転電セリ

ノ「ストック」ヲ精査スル事無ク只店員ニ対シ排日宣伝ヲ

行ヒタル後入口ニ日貨大検査ナル貼紙ヲ為スノミニテ積極

的行動ニ出テ居ラス從テ絶交委員会ヨリ必ス八月一日ヨリ

開始スヘシト称スル日貨ノ掃蕩期モ果シテ実行シ得ヘキヤ

否ヤ疑無シトセス

往電第四四八号ニ関シ

反日出兵反対暴行委員会ノ解散方七月九日付公文ニテ嚴重要求シ其ノ後督促ヲ怠ラサル處交渉員モ本件ヲ重視シ南京政府ニ報告指図ヲ待チ居ル由ニテ十八日本官南京出張ノ機会ニモ岡本ト打合中央要人ノ注意ヲ喚起シ置ケル次第ナル右排日團検査隊ノ為脅迫抑留サレタル事件頻発シ支那官憲ハ我方ノ嚴重頻繁ナル抗議警告ニ拘ラス排日團ニ氣兼シ調査中ト称シテ貨物ノ返還ニ応セス此ノ種未解決事件ハ往電第448号報告ノ分ヲ併セ計七件（内二件ハ日本人所有財産タルコト判明セルニ付近々返還スヘシト三十日電話アリタルモ未タ實行セラレス）ヲ算スル現状ニテ代用品ナキ特殊商品以外ノ日貨ノ取扱邦商ノ多數ハ全ク商売杜絕シ若シ現状カ尚数ヶ月繼續スル場合破産引揚ヲ余儀ナクスヘキモノ鮮カラサル見込ニテ事態輕視シ難ク殊ニ既報ノ通右排日團中心トナリ最近當地ニ全國排日大会ヲ開キ諸般ノ排日決議ヲ為シ国民政府管内全土ニ亘り組織的經濟絶交ヲ運動スルコトニ決シ此ノ度ノ排日ハ從来ニ見サル永続性ヲ帶フル様觀測セラル之ニ對シテハ（）出兵問題其ノ他排日運動ノ原

上 海 8月1日前着
本省 8月1日前後

上海 8月1日前後
本省 8月1日前後

今回ノ排日運動ハ国民党指導ノ下ニ逐次深刻ノ度ヲ加ヘ當地總商會内ニ組織セル「反抗日軍暴行委員会」ハ恣ニ官民懲罰令ヲ設ケ特ニ日貨ニ對シ救國基金ト称シ關稅類似ノ苛酷ナル課金ヲ強制徵收シ日貨ノ押収頻々トシテ行ハレ邦人所有ノ貨物ニシテ今尚返戻要求ニ応セサルモノ少カラス如斯ハ我國トノ通商貿易ヲ阻害セントスルモノニシテ明ニ條約違反タルノミナラス一種ノ敵対行為ト言フヘク断シテ默ス可キニ非ス

右ニ関シ當地帝國總領事ニ於テハ屢々支那官憲ニ対シ警告抗議ヲ為シ殊ニ最近嚴重ニ排日團体ノ解散ヲ要求シツツアルモ支那官憲ハ愛國運動ナリトノロ実ノ下ニ之ヲ取締ルノ誠意無ク遂ニハ排日團ハ當地ニ於テ全國反日大会ヲ開キ極端ナル排日決議ヲ為シ今ヤ彼等ノ暴戾ナル運動ハ全國ニ波及セントス

依テ帝國政府ハ此ノ際南京政府ニ對シ断然排日團体ノ即時解散ヲ要求アラン事ヲ切望ス

右役員会ノ決議ニ依リ申請ス

698 昭和3年8月4日 在上海矢田總領事より
田中外務大臣宛(電報)

排日貨運動による邦人所有貨物抑留事件に關し
し金交渉員に取締方警告について

上海 8月4日後発
本省 8月5日前着

四日正午金交渉員ヲ交渉署ニ往訪シ最近当地ノ排日運動ハ他地方ニ比シ盛ニシテ邦人所有貨物抑留事件多数ニ上リ殊ニ一両日前邦商關係支那人船頭カ日貨ヲ積送セリトノ廉ニ依リ游街侮辱ヲ蒙リタル事件アリ在留人ノ感情モ昂奮シ日本工商會議所ハ数日前外務大臣及在支公使ニ対シ強硬政策実行方請願電報ヲ發シ又昨三日邦人実業家ハ集会シテ自衛團組織等ノ具体案ヲ講究シ始メタリ他方日本政府モ在留民ノ利益擁護上必要ト認ムレハ自衛手段ヲ執ル方針ナレハ如何ナル対抗策ヲ訓令シ來ルヤモ岡ラレス本官ハ両国ノ為密ニ憂慮ニ堪ヘサルニ付至急貴下ト面会シ当地支那官憲ニ於テ排日運動取締ニ対スル誠意及将来ノ見込ニ付充分確メタ

第五二八号

局支那カ自國ノ秩序ヲ維持シ得サル点ニ帰着スヘキモ際限無ケレハ今日ハ差控フヘシトテ議論ヲ打切り更ニ地方政府ノ取締ノ誠意ニ対シ念ヲ押シ其ノ確答ヲ得タルヲ以テ引取りタリ

尚辞去ニ際シ金ハ右会見ノ内容ハ錢警備司令ニ伝フヘント述ヘ居タリ

在支公使、天津、青島、濟南、漢口、南京、廈門、汕頭、福州、廣東、香港、奉天ニ転電セリ

699 昭和3年8月11日 在漢口原田總領事代理より
田中外務大臣宛(電報)

排日運動今後二、三箇月継続の場合の日中両

漢口 8月11日後発
本省 8月12日前着

第三二二号

昨今武漢間ノ日貨排斥運動ハ外交後援会ト市対日經濟絶交委員会トノ紛争ニ依リ表面稍撓氣味ニ見ユルモ内実ハ益々深刻味ヲ加ヘ恰モ兩機関併立シ競フテ日貨検査ト違反者制

ル上直ニ電報シ対策決定ニ資セムカ為今日態々來訪セル次第ナルニ付貴下ノ腹藏無キ意見ヲ承ハリタシト述ヘタル処

金ハ斯ノ如ク虛心坦懐ニ申出テラレタルハ頗ル愉快ニ堪ヘ

スト冒頭シ種々御世辞ヲ述ヘタル後当地ニ於ケル地方官憲

ノ取締振ヲ縷述シ何分ニモ貨物運送者ハ殆ト支那人ニシテ

日本人所有ナルヤ否ヤ判然セサル事多キ為間違ヲ生スル次第ナリ併シ右不法抑留事件モ二件ハ既ニ解決済ニンテ残リ

数件モ今朝返還スル事ニ決定セリ右事実ハ當局者ノ誠意ヲ裏書スルモノニシテ又自ントシテモ将来斯ル事件ノ再発ヲ

防止スル様努力スヘシ唯タ本運動ノ原因ハ實ニ日本ノ山東出兵及濟南事件ニ在ルヲ以テ右原因ヲ除去スル事最モ緊要

ナリト述ヘタルニ付本官ハ排日運動ノ由来ニ付議論ヲ戰ハ

ス事ハ本日來訪ノ要旨ニ非ス貴下ハ恰モ日本人所有貨物ヲ

差押フル事ヲ取締レハ可ナルカ如キ意見ナルカ日本政府ノ解釈ハ然ラス国民政府乃至党部ノ默認又ハ援助指導ノ下ニ

排日團體組織セラレ日本品ヲ沒收シ日貨取扱支那人ニ私刑ヲ課スルカ如キハ日本ニ対スル非友誼的行為ト認ムト云フ

ニ在リト反駁シタルニ金ハ我々ハ日本ノ山東出兵ヲ以テ日本ノ甚タシキ非友誼的行為ト認ムト答ヘ本官ヨリ問題ハ結

往電第八二号ニ閑シ

700 昭和3年8月24日 在福州西沢總領事より
田中外務大臣宛(電報)

福州の反日執行委員会の排日貨決議ならびに
実行振りについて

福州 8月24日後発
本省 8月24日後着

第八四号

其ノ後成行検査中ノ処本月二十一日反日執行委員会第四次
例会ヲ催シ

一、仇貨検査所ヲ設立シ其ノ実施ヲ海關構内及馬尾ニ設ケ

検査員ヲ派シテ輸入日貨ヲ調査抑留スル事

二、当地各工会及総工会ニ通達シ日貨ノ輸送販売ニ支那労

働者ノ從業スル事ヲ禁止セシム

三、糾察隊六隊ヲ編成シ日貨ノ密売者ヲ発見次第之ヲ沒收

又ハ牽引ス

等ノ決議ヲ為セルカ果然昨二十三日ヨリ愈々其ノ実行ニ入
レルモノノ如ク同会常務委員翁侃自ラ糾察隊員三名ヲ率ヒ
テ市内日貨販売支商ノ店頭ニ陳列シタル台灣産「バナナ」
及罐詰類其ノ他ヲ沒收シテ火中ニ投棄シタルカ右ニ對シ支
那側官憲ハ取締ヲ為サヌ目下ノ處直接本邦商店ニハ手ヲ触
レサルモ今後共此ノ種暴行ハ執拗ニ行ハルモノト觀測セ
ラレ引続キ警戒中ナリ

在支公使、上海、南京、台灣總督ヘ轉電シ天津、漢口、濟
南、廈門、汕頭、廣東、香港、杭州へ暗送セリ

701 昭和3年8月25日 在漢口原田總領事代理より
田中外務大臣宛(電報)

日貨排斥運動による我中小貿易業者の苦境に

ついて

漢口 8月25日後発

本省 8月25日後着

第三三一号

往電(六九九文書) 第二二二号ニ閲シ

其ノ後ニ於ケル当地ノ日貨排斥運動ハ全國反日大会出席委
員帰還後特ニ深刻味ヲ加ヘ来リ外交後援会及經濟絶交委員
会ハ公安局ノ援助ヲ得相競フテ組織アル運動ニ出テ極メテ
巧妙且隱險ナル日貨検査ト違反者制裁ノ方法ニ依リ日支交
渉問題ヲ發生セシメサル範囲ニ於テ支那人當業者ヲ圧迫拘
束シ事實上日貨ノ取引ヲ抑圧シツツアリ之カ為綿糸ノ如キ
二十四日以來全ク荷動キナク綿布砂糖石炭雜貨モ曩ニ登記
ヲ了シ通行票ヲ領有スルモノニ限り辛ウシテ荷動シツツア
ルノ状態トナレリ此ノ間邦人當業者中大商社筋ハ相當ノ覺
悟ヲ以テ之ニ対抗セムト意氣込ミ居ルモ中流以下ノ貿易業
者ハ其ノ苦痛ニ堪ヘスシテ種々焦慮スル向少ナカラス

北京、上海、南京ニ転電シ長沙、宜昌、沙市、重慶ニ暗送
セリ

702 昭和3年8月29日 在汕頭別府領事より
田中外務大臣宛

日貨排斥の現状ならびに日本業者の窮状につ
いて

機密第三〇七号

昭和三年八月二十九日

在汕頭

(9月22日接受)

領事 別府 熊吉(印)

外務大臣男爵 田中義一殿

排日貨ニ依ル支那側經濟界ノ打撃程度並邦商ノ

現状等ニ関スル件

本件ニ關シテハ不取敢拙電第六八号ヲ以テ報告申進置タル
通り當地市場品ハ綿布反物雜貨日用品海產物等ノ日本品約
七、八割見当ヲ占メ其主ナル顧客ハ奥地ナル處御承知ノ通
り上半年來地方共產黨騷亂ノ影響ニ依リ農村ノ疲弊、地方
購買力ノ激減、奥地取引ノ不況ヲ告クト共ニ奥地荷受主

ヨリノ回収金平年ノ約三分ノ一以下トナリ汕頭商業經濟ハ
枯渴ノ裡ヲ彷徨シ殊ニ六、七、八月ノ夏枯期ニ入り經濟界
不況ノドン底ニ陥リ旧盆前倒産シタル商家數軒アリ仲秋ノ
節閑亦悲觀氣配アル矢先七月末成立ノ市黨務指導委員會ハ
五月二十八日組織セル商界對日山東出兵委員會ノ排貨方法
ヲ不徹底ニシテ効果ナシト断シ更ニ八月十三日各界對日經
濟糾正執行委員會ナルモノヲ成立セシメ商界側ヲ併合セン
トシタル為商界側ニ於テモ面目保持上最近俄カニ排貨ヲ激
化セシムルニ至リ其結果日貨ヲ取扱ヘル有力筋支那商ノ荷
動キ停滯シ大商店ニシテ不景氣挽回策ヲ加味シ手持品ノ大
売出ヲ行ヘルモノ統出セシカ何レモ賣行思ハシカラス一方
秋冬物註文期ニ入り一部支那商中台銀ヲ介シ大阪方面ニ內
密小口註文シ又同地ニ於テ内容國貨ノ如ク包装ヲ變ヘ香港
積換ヘ乃至ハ香港ニテ「マーク、レヅテル」包装ヲ變ヘ輸
入シ或ハ又當地外人ノ名義ニテ香港ヨリ日本綿布反物類ヲ
取寄スル向アル由ナルモ日本品取扱一般支那商ハ相当手持
品ヲ擁スレハ目下ノ處買手少キ高価ナル歐米品ヲ取寄セ日
本品ニ代ヘントスルカ如キ氣配見ヘス概シテ排日ノ推移觀
望ノ体ニシテ廳テ在庫品薄トナリ若クハ品切トナリタル暁

ハ生活問題トシテ商人側ヨリ或ル種ノ排貨反対運動擡頭ス
ルニアラスヤト観測スルモノアリ聞ク処ニ拠レハ最近当地
一有力支那商ハ排貨ノ永続ヲ恐レ上海ニ於ケル排日貨ノ実
況ヲ見究ムル為同地ニ赴キタリト云フ

尚各界対日会ハ九月一日ヲ期シ商界反日会側ヨリ反日ノ最
高権ヲ引継クコトトナリ同月十四、五、六ノ三日ニ亘リ日
貨ノ内地輸送禁止並各商店在庫品調査実施ニ関スル打合ノ
為已成ノ各県反日會代表者ヲ当地ニ召集シ連席會議ヲ開催
スル趣ナルカ右事項実施ノ暁ハ汕頭支那商ハ目下内地ヘノ
日貨壳却ニ際シ一々調査ヲ受ケ許可ヲ得ツツアル等手続煩
雜ナルモノアルニ加ヘ内地交通ノ要路ニハ多数ノ調査隊見
張リ居ル現状ナルヲ以テ実施迄ノ短期間ニ手持品ヲ内地ニ
売尽スコト素ヨリ至難トスル處ニシテ其蒙ルヘキ影響極メ
テ大ナルモノアルヘシ因ニ同會議ニ於テ各県共同遵守ノ章
程ヲモ決定スヘシト云フ

次ニ邦商ノ現状ニ關シ當地邦商ハ小売商ヲ除キ多クハ支那
商ノ註文ニヨリ仲渡又ハ倉渡ニテ商品ヲ仕入れ乃至ハ仲繼
貿易ヲナスモノナルカ近來雜貨日用品類ハ殆ント支那商ノ
手ニ移リ現在内地人取扱商僅々數軒ニ減シ籍民商ノ主ナル

ノ解決ハ支那側ニ好カレ惡カレ今次排日貨ハ相當持久戦ニ
入ルモノト覺悟シ準備セサルヘカラサル処支那商ハ前陳ノ
通り手ヲ換ヘ品ヲ換ヘ頗ル巧妙ニ日貨ヲ入レ結局困ルハ邦
商ノミニシテ加フルニ累年排日ニ惱マサレ其創痍ヲ医スル
ノ違ナク行々ハ店舗ノ経費ヲ出スコトモ困難ナル窮状ニ立
至ラストモ限ラス現ニ三井出張員外一軒ハ己ニ七月当地ヲ
引揚クルニ至リ此上共時局ニ何等展開ヲ見サル限り或ハ一
軒二軒ト引揚クルヲ得サル悲境ニ陥ルコトナキヲ保セサル
ヘク左スレハ永年ノ間ニ獲得セル商權地盤ヲ放棄スルコト
トナリ一旦放棄セハ之ヲ後日ニ挽回セントスルモ得テ望ム
ヘカラサル次第ハ呶々ヲ要セサル次第ナルカ邦商ニ於テハ
相当応戦ノ決意ヲ有セサルニハアラサルモ何レニシテモ事
資金ニ関スル問題ナルヲ以テ昨今低利資金融通問題ノ声漸
次高クナリツツアル現状ナリ

右報告ス

~~~~~

703 昭和3年8月30日 在漢口原田總領事代理より

田中外務大臣宛（電報）

排日貨の打撃は今後深刻となる予想について

(一) 邦商中綿布砂糖石炭海產物雜貨等ノ卸売筋ハ日貨取引ニ  
對スル抑圧甚シキ為メ荷動キ円滑ヲ欠キ綿糸ノ如キハ本  
月下旬ニ入り取引無ク其ノ他新規約定皆無小売筋ハ七月

漢口 8月30日後発  
本省 8月31日前着

第三三五号

貴大臣発上海宛電報第一九五号ニ關シ

(一) 今春來ノ排日貨振ハ大正八、九年ノ夫レト趣ヲ異ニシ組  
織のニシテ漸進ヲ特長トシ日貨手持品其ノ物ヲ棄損セス  
極力支那商人ノ損失ヲ最少限度ニ止メントスル一方支那  
商人ハ歐米ノ代用品ヲ容易ニ入手シ得ラル関係上左シ  
通機関ノ復旧ニ伴フ反動的取引旺盛ナル為一部本邦商  
品專業者ノ外目下ノ處当地支那側一般經濟界ニハ直接排  
日貨ニ依ル顯著ナル打撃ヲ認メス但シ邦貨先物カ先物契  
約品（九、十月度）ノ受渡完了ノ曉在荷薄トナルニ於テ  
ハ日貨検査及違反者制裁ノ嚴重励行ト相俟ツテ市場ニ相  
當變化ヲ免レサルヘク排日貨ノ打撃ハ寧ロ今後ニ於テ深  
刻ニ現ハルヘシ

(二) 邦商中綿布砂糖石炭海產物雜貨等ノ卸売筋ハ日貨取引ニ  
對スル抑圧甚シキ為メ荷動キ円滑ヲ欠キ綿糸ノ如キハ本  
月下旬ニ入り取引無ク其ノ他新規約定皆無小売筋ハ七月

中売揚高平時ノ約五分ノ一ニシテ船舶運輸業ハ上流航路殆ト影響無キモ漢口上海間ハ積荷漸減シ打擊鮮カラス委細公信  
上海へ転電セリ

704 昭和3年8月31日 在上海清水總領事代理より  
田中外務大臣宛(電報)

排日貨運動による邦商の閉店乃至破産続出の見込について

上海 8月31日後発  
本省 8月31日後着

第五八九号

貴電第一九五号ニ関シ

一、排貨運動ニ依ル支那人方面ノ經濟的打撃ノ程度ニ付テハ七月初靴下其ノ他綿布加工業者窮境ニ陥リ政府、總商會並ニ反日委員会ニ請願シ三十二番手以上細物綿糸ニ対シ救国基金二割ヲ二分見当ニ引下ヶ運動セシヲ始メトシ鱗寸、洋絹業亦原料軸木、傘骨ニ対スル基金免除ヲ得八月ニ入り二十番手綿糸ニ対スル基金ヲ五分見当ヘ引下ヶ

協定出来現在綿布ニ対シ五分乃至一割位引下ヶ方又塩鰐ニ対シ露領產タル理由ニテ免除方夫々運動中ノ由ニテ是等ハ關係支那商カ漸次窮迫ニ陥リソツアルヲ証スルモノナルカ又一面支那紡績業者或ハ染色業者紙類、石鹼、化粧品、文房具等製造業者側却テ好影響アリ悪影響最重大ナル綿布、砂糖業者ノ内綿布問屋ハ關係者凡ソ百五十軒資本總額三百七十萬両ヲ負担セハ多數ノ破綻者ヲ出タスヲ免レサルヘキカ当然負担スヘキ危險ニ対シ排日ヲ理由トシ無責任ノ態度ヲ執リ居リ結局日本側ニ於テ之ヲ背負フ外無キ状態ナレハ現実ニハ左程窮境ニ立至リ居ラス又砂糖問屋關係者六十五軒出資總額百六十萬両準備金ヲ併セ信用程度四百七十萬両ニ対シ排貨手當ノ爪哇糖思惑外レ損失見積リ百五十萬両日本糖損害別記ノ如ク約五十萬両合計二百万両以上ノ損勘定ナレハ若シ敵格ニ契約ヲ實行スルトセハ右支那人砂糖問屋及綿布問屋ノ大多数カ破滅ニ瀕スルコトトナリ延イテ当地支那人財界ニ一大波乱ヲ起スコト必定ナルモ目下ノ處何<sup>(2)</sup>モ始末ヲ付ケ斯成行ヲ觀望シ居レリ右ノ外日本雜貨取扱ノ支那側小売業者ハ新規仕

入出来ス窮地ニ陥リシモ經營費僅少ナル彼等ノコトテ轉業其ノ他ノ方法ニテ何トカ生計シ居リ百貨店方面モ日本品ノ代リトシテ独逸雜貨等ヲ輸入シ始メタリ之ヲ要スルニ今回排貨ノ為當地日本關係支那商側ハ多少ノ打撃ヲ受ケサル無ク内情苦シキモ当然受クヘキ損害ヲ邦商側ニ轉嫁シ居ル者多ク未タ市面<sup>(3)</sup>サクチヲ出ス程度ニ至ラス寧ロ本邦品ノ競争品ヲ取扱フ商工業者ハ好影響ヲ受ケ居ル実状ニアリ

二、邦商ノ現状等ニ付テハ代用品ナキ日本品取扱業者ハ平

氣ナルモ支那人相手ノ小売業者ハ殆ト商売ナキモ營業費極度ノ節約等ニ依リ何トカ維持シ居リ今日迄ノ損害高モ

金額トシテハ比較的大ナラス一般輸出入關係商工業者ノ打撃ハ(一)大体予定収益ノ減少ト夫ニ関連スル營業費ノ喰込ミ(2)約定品受渡ノ不履行及遲延ニ依ル現実ノ損害ノ内

(3)ハ範囲大ニシテ打撃モ巨額ニ達ス即チ五月ヨリ八月末迄四ヶ月間ノ収益減少高紡績業三百万円汽船業百二十万円ヲ主ナルモノトシ其ノ他ヲ加ヘ総額約六百万円ニ達スル見込ナルカ(2)ニ付テハ受渡シ不能ノ約定品ヲ仮ニ処分スルトシテノ値下リ為替差損、金利、倉敷、保険等即チ

現実ノ損害ニ付大体ヲ見積レハ左ノ如シ  
(1)船会社、紡績、硝子、皮革、莫大小、石鹼、鱗寸、印刷刷、「タオル」等損害輕微  
(2)石炭、金物、工業製品、木材、紙類等損害比較的微弱  
(3)輸出品トシテ蕪湖產菜種約定品四万俵価格四十万円内代金半額支払済ミ若シ受渡シ停頓永引ケハ品質低下ノ惧アリ  
(4)海產物、文房具、雜貨類ハ輸入取扱者ノ多クハ支那商ナレハ邦人側損害僅少  
(5)砂糖約定品在荷約十二万俵百五十万円積ミ止メ中並先約定品五十万俵約六百万円アリ在荷品損害約二十九万円積ミ止メ先約品值下ヶ損五十万円見当合計金七十九万円支那側ノ立場別項ノ通ニテ損失ノ轉嫁困難併シ本邦當業者ノ多クハ一流商社ナレハ差當リ心配ナシ  
(6)綿布約定品在荷一千一百万円、積止メ中約一千万円合計二千百万円ニシテ内手形ノ銀行トノ間ニ決済ヲ了シタルモノ五十万円見当他ハ銀行(主トシテ正金)手許ニアリ内延期手形三百三十万円見当、損害見積リ額當地在荷品八十万円、積止メ品八十万円、合計百六十万

円、取扱邦商側ハ東洋棉花外八社ヲ俗ニ商館筋ト云ヒ

約定高約半額ヲ占メ増幸洋行外十六社ヲ洋行筋ト称シ

一半ヲ占メ居ルカ商館筋ハ基礎比較的堅固ナルモ洋行

筋十七軒総資本銀二十万円位ニ過キス資本額ニ二十倍

スル約定品ヲ持チ上記損勘定ヲ擁スル有様ニテ業態最

モ悪ク僅ニ関係銀行ノ特別了解ノ下ニ割安約定品ト有

利ナル為替ヲ拾ヒテ買繫キヲ為シ居る状況ナレハ仮令

今仮ニ商状回復シテモ一通リ建直シヲ見ルニハ後六ヶ

月以上ヲ要スル見込ナリ

以上総括スルニ五月ヨリ八月末迄ニ当地邦商ノ受ケタ

ル広義ノ打撃損約六百万円ニ上リ約定品ニ付現実危険

ニ晒サレ居ルモノ約二百六十万円ニシテ就中綿布商中

最業態ノ悪キ所謂洋行筋カ危險ニ呻吟シ居ル次第ニテ

既ニ窮境切抜ノ見込立タス閉店、引揚ノ準備中ニアル

モノ二軒アリ若シ尚数ヶ月局面緩和サレサル場合資本

豊富ナラサル中部以下邦商ノ閉店乃至破産スル者続出

スヘキ予想ナリ（本報告ハ本官加藤商務官代理ト共同

調査セルモノ委細ハ數日内ニ郵報ス）

北京へ転電セリ

705 昭和3年9月2日 在福州西沢總領事より

田中外務大臣宛（電報）

### 福州排日貨運動深刻化の傾向について

本省 9月2日後発

本省 9月3日前着

第八九号

往電第八四号ニ閲シ

其ノ後反日委員会ハ(1)日貨登記弁法ニ依ル手持日貨ノ検査

封印実施(2)禁ヲ冒シテ日貨ヲ（取引）スル者ノ該貨沒収其

ノ游街処分（罪状ヲ大書シテ市内ヲ引キ廻ハス）(3)日本船

舶ノ荷役禁止等種々激烈ナル排日弁法ヲ公布シ屢次各界代

表ヲ集メ其ノ実行ヲ督励シツツアリタル処

一、去ル三十日当地電燈会社カ其ノ所有船建新号ニ依リ基

隆ヨリ多量ノ石炭砂糖「バナナ」雜貨等ヲ輸入セルニ對

シ会社代表者ヲ反日会ニ出頭方強要シ其ノ非ヲ詰リタル

舉句之ヲ游街処分ニ処シタル趣（事實ハ偽者ヲ引キ廻ハ

シタリ）ニテ之ヲコトサラ新聞号外ヲ以テ宣伝セシメタ

リ

二、本二日入港ノ商船大球丸ニハ往電第八七号排日ニ依ル  
荷止ノ為積荷僅カニ雜貨四頓ト少量ノ「バナナ」ニ過キ  
ス而モ排日団ノ脅迫ニ依リテ荷役解ハ下江ヲ肯セサル為  
已ムナク商船「ランチ」ニ依リ陸揚スルコトナリタル  
カ今後ハ當分内地ヨリノ着荷ハ殆ト皆無ノ見込ナリト言  
フ

三、市内ニハ日貨検査隊横行シ支那人商店内ノ日貨（主ト  
シテ綿布類）ニ封印シツツアリ斯くて漸ヤク當地排日貨  
運動ハ深刻化セントスル傾向アリ

公使、上海ニ転電シ廈門、汕頭、台灣總督ニ暗送セリ

其ノ後主ナル日貨取扱支那人二十軒ニ付調査シタル処現  
ニ排日団調査隊ノ手ニ依リ封印セラレタル日貨ハ約三万四  
千元ニテ之ヲ前記ノ實例ニ依リ全般ニ亘リ推定スルニ綿  
布、砂糖、麥粉、雜貨等ヲ合セ少クトモ二十七、八萬元ヲ  
下ラサル見込ナリ尤モ被封価格ハ概シテ投資額ノ二十分ノ  
一多キモ十分ノ一二過キサルノミナラス開封売出シ差支無  
キ模様ナレハ大量抱込ミニ依ル資金難ニ陥ルモノナキ模様ナリ  
シ難キモ目下ノ處閉（店）倒産ニ至ルモノナキ模様ナリ

706 昭和3年9月5日 在福州西沢總領事より

田中外務大臣宛（電報）

排日團調査隊により封印された日貨の被害額  
について

福州 9月5日後発

本省 9月5日後着

707 昭和3年9月8日 在南京岡本領事より

田中外務大臣宛（電報）

排日貨運動取締方にに関する李烈鈞国民政府常  
務委員と折衝について

南京 9月8日後発

本省 9月9日後着

第四四〇号

貴電第七一號ニ閲シ

往電第八七号ニ閲シ

第九〇号

排日乃至排日貨ニ閲シテハ抗議提出等ヲ為スコト無ク平素  
ノ懇親關係ニ基キ機会アル毎ニ譚延闡、李烈鈞（李ハ国民

儘ニ運ハルル状態ニテ主席譚延闡モ李ト全然同意見ナルヲ以テ一切李委員ニ委セ居レル旨語レリ) 等国民政府首脳者ニ対シ自發的ニ取締ル様仕向ケ彼等亦本官ト同意見ナリトテ濟南事件勃発以来從来ニ無ク徹底的ニ取締リ來リタル次第ニシテ曩ニ上海ニ於テ同地ニ於ケル邦貨抑留事件起リタル際李ニ対シ同地ニ於ケル排日團解散並ニ一般的排日運動ノ嚴重取締方ヲ公文ヲ以テ要求スヘク考ヘ居レリト語レル處李ハ右ハ却テ自分等ノ行動ヲ妨クルノ結果トナルヘキニ依リ見合ハセラレ度ク取締ニ閑スル從来ノ方針ハ毫モ変更スト言ヒ直ニ国民政府ノ名ニ於テ抑留日貨ノ即時釈放ヲ命シ多少時日ノ遷延ハアリタルモ無事解決シタルハ御承知ノ通ニシテ直接日本人ノ生命財産ニ危害ノ及ハントスル場合之カ取締方ニ関シ必スシモ不誠意ナリト断シ得サルカ如シ唯最近ノ排日貨方法ハ御承知ノ通日貨取締支那人亦既ニ支那商ノ手ニ渡レル日貨ニ制裁ヲ加ヘ同時ニ日貨抵制運動ノ効果ヲ挙ケントスルモノニシテ此ノ種間接的排日貨運動ニ対シテハ国民政府組織ノ完備セサル現時ノ状態ニ於テ殊ニ一般的日支關係ノ改善セラレサル今日国民政府首脳者ト

北京、天津、上海、漢口、廣東へ転電セリ  
708 昭和3年9月15日 在廈門坂本領事より  
田中外務大臣宛(電報)  
排日貨運動による邦商の打撃深刻の状況について  
上海宛貴電第一九五号ニ関シ  
第九四号

(1) 第九四号  
一、支那側打撃ノ程度

当地經濟界ハ今春以来南洋方面經濟不況及出稼移民ノ送

金減ニ依リ恐慌ヲ來シ金融業者ノ破産セル者十数名ニ及

ヒ沈衰ヲ極メ居ル處此ノ間排日突發シ(三月鮮人逮捕事件以来) 支那商ハ金融ノ梗塞ト共ニ最近數ヶ月間ハ殆ト全ク対日註文ヲ發セサル状況ニアリ現ニ税關其ノ他各般ノ材料ヨリ推ス時ハ四月ヨリ七月迄ノ間約五十万両ノ日本ヨリノ輸入減ヲ來シ居レリ尤モ右打撃ノ範囲ハ單ニ日貨取扱支商ニ限ラレ一般的ナラサル上前顧ノ通金融梗塞

政府常務委員ノ資格ニテ日々出勤政務ハ殆ト同人ノ意思ノ儘ニ運ハルル状態ニテ主席譚延闡モ李ト全然同意見ナルヲ以テ一切李委員ニ委セ居レル旨語レリ) 等国民政府首脳者ニ対シ自發的ニ取締ル様仕向ケ彼等亦本官ト同意見ナリトテ濟南事件勃発以来從来ニ無ク徹底的ニ取締リ來リタル次第ニシテ曩ニ上海ニ於テ同地ニ於ケル邦貨抑留事件起リタル際李ニ対シ同地ニ於ケル排日團解散並ニ一般的排日運動ノ嚴重取締方ヲ公文ヲ以テ要求スヘク考ヘ居レリト語レル處李ハ右ハ却テ自分等ノ行動ヲ妨クルノ結果トナルヘキニ依リ見合ハセラレ度ク取締ニ閑スル從来ノ方針ハ毫モ変更スト言ヒ直ニ国民政府ノ名ニ於テ抑留日貨ノ即時釈放ヲ命シ多少時日ノ遷延ハアリタルモ無事解決シタルハ御承知ノ通ニシテ直接日本人ノ生命財産ニ危害ノ及ハントスル場合之カ取締方ニ関シ必スシモ不誠意ナリト断シ得サルカ如シ唯最近ノ排日貨方法ハ御承知ノ通日貨取締支那人亦既ニ支那商ノ手ニ渡レル日貨ニ制裁ヲ加ヘ同時ニ日貨抵制運動ノ効果ヲ挙ケントスルモノニシテ此ノ種間接的排日貨運動ニ対シテハ国民政府組織ノ完備セサル現時ノ状態ニ於テ殊ニ一般的日支關係ノ改善セラレサル今日国民政府首脳者ト

シテモ断乎タル処置ニ出ツルコト頗ル困難ナルハ屢次本官ニ洩ラセル所ニシテ地方官憲ニ於テ屢々ロニスル愛國運動ナルカ故ニ已ムヲ得ストノ言モ一面口実ナルト共ニ事実取締上ノ困難ヲ語ルモノト思料ス尤モ五院々長ノ人選モ予定ノ通蔣介石行政院長トナラハ更ニ徹底的ニ取締実行セラルヘシト考ヘラル筋アリ四月貴電御下命ノ次第モアリ本八日ニ李烈鈞ヲ国民政府ニ訪ヒ(譚延闡不在)御訓令ノ趣旨ヲ敷衍申入レタル處李ハ国民政府トシテ排日運動取締ノ根本針ニ何等変ナク今後共誠意ヲ以テ処置スヘク又排日運動ニ官憲カ関与シ居ルカ如キコトハ絶対ニナシ南洋方面ニ汕頭ニ於ケル御来示ノ事実ハ早速調査スヘシト言明シ唯日支両国間根本的重要問題解決スル迄ハ種々些末ノ事件頻發スヘク之固ヨリ政府ノ意思ニアラサルモ何分政府ト党部トノ関係上鬼角徹底的防止又ハ取締方ハ事實上困難ヲ感シ居レリ現ニ上海、蕪湖ニ於ケル反日團体ヨリ政府ノ取締ニ對シ頻リニ詰問ノ電報ヲ寄越シ居ル狀態ナリト述ヘタリ不取敢尚王外交部長十日(月曜日)帰来ノ筈ナルニ付同部長ニ右ノ旨申伝フル筈ナリ

二、支那側打撃ノ程度  
在庫品ヲ有セサルヲ例トシ手持品ハ之ヲ販売シ得ル実情ニアリ從テ日貨輸入ヲ敢行シ若ハ秘密裡ニ当地邦商ト取引シ又ハ上海香港ニテ荷造リ商標等ヲ変更ノ上輸入シ当初直ニ契約ヲ取消シ外國品ニ肩替ヘセル者等アリテ打撃ヲ受ケ居ラス当地ニテハ排日ノ為未タ破産者ヲ出スカ如キ程度ニ達シ居ラス尚最近迄ハ夏枯期ニシテ例年取引減少スルモ冬物仕入期モ近付キ居ル事トテ此ノ儘更ニ数ヶ月ヲ経過セハ支那側打撃ハ相當甚大ナルヘク排日貨ノ影響ハ今後愈深刻化スルニアラスヤト思考セラル  
一、邦商ノ近況  
邦商側ノ損害ハ甚大ニシテ三井出張所ハ取引高、壳約高合計約二〇〇万弗ノ減少ヲ來シ昨今「ビル」以外ハ全然取引ナク社員ヲ半減シ今後ノ状況如何ニ依リテハ当出張所ヲ引揚閉鎖スヘシトノ説サヘアリ大阪商船ノ三月以降当地揚荷ハ平年約二十三万噸ノ四分ノ一一減少シ基隆、福州、廈門線高雄、廣東線ハ毎航トモ積荷皆無ニシ

テ命令航路ナルカ故ニ已ムヲ得ス就航シ居ル状態ニアリ

日清汽船ノ南支線亦同様台灣銀行支店ノ輸入手形取扱  
ハ普通月三、四十万弗以上ナルニ八月末ハ僅ニ一万六千

弗ニ過キサリシ程ニテ其ノ他綿糸布海產物、雜貨類取扱  
内台人商人三月以降ノ取引量モ例年ノ三分ノ一二減少シ  
契約解除、契約品ノ不渡壳掛金回収難、為替決済ノ延引  
手持品ノ破損等ニ依リ多大ノ損失ヲ受ケタルノミナラス  
昨今殆ト商休止ノ状態ニ陥リ僅ニ排日団ノ目ヲ掠メテ夜  
間等日用必需ノ授受ヲナスカ如キ有様ニシテ全ク四苦八  
苦ノ状態ニアリ往電第六九号ノ通政府ニ対シ低利資金融  
通其ノ他救済請願方引続キ寄々協議中ナルモ未タ破産又  
ハ閉店セルモノナシ

709 昭和3年9月17日 在廣東矢野總領事より  
田中外務大臣宛（電報）

廣東における今回の排日貨運動の特徴につい  
て

廣 東 9月17日前發  
本 省 9月17日後着

検査抑留及荷役苦力ノ罷工等行ハレス自由ニ運搬セラレツ  
ツアル処邦商側ニ於テハ從来ノ經緯ニ懲り在庫品ノ荷渡シ  
及支那人トノ取引ヲ差控ヘ居ル向モアリ倉敷料其ノ他保険  
料諸掛リ及貨物ノ破損其ノ他ノ損害約百九万（一〇九万）  
弗（申告書ニ依ル）ニ達スト謂フ

在支公使、上海、香港、汕頭へ暗送セリ

710 昭和3年9月27日 在上海矢田總領事より  
田中外務大臣宛（電報）

反日団体抑留の邦人所有日貨はぼ返還され

第六五八号  
上 海 9月27日後發  
本 省 9月27日後着

検査抑留及荷役苦力ノ罷工等行ハレス自由ニ運搬セラレツ  
ツアル処邦商側ニ於テハ從来ノ經緒ニ懲り在庫品ノ荷渡シ  
及支那人トノ取引ヲ差控ヘ居ル向モアリ倉敷料其ノ他保険  
料諸掛リ及貨物ノ破損其ノ他ノ損害約百九万（一〇九万）  
弗（申告書ニ依ル）ニ達スト謂フ

在支公使、上海、香港、汕頭へ暗送セリ

711 昭和3年10月2日 在漢口原田總領事代理より  
田中外務大臣宛（電報）

漢口特別市排日会の対日經濟断交等宣言につ  
いて

東京へ転電シ漢口、福州、廣東、汕頭、廈門へ暗送セリ

跡ヲ絶チ從來ノ案件ハ往電第五二八号交渉員ノ本官ニ対ス  
ル言明通特別ノ理由アル一件ヲ除キ他ハ全部返還セラレ九  
月ニ入りテヨリハ右団体ノ活動振モ多少緩和ノ感アリ邦商  
カ貨物運送ノ途中時ニ検査ヲ受クルコトアルモ予メ當館ノ

### 第一五六号

外務大臣発上海宛電報第一九五号ニ関シ

（一）今回排日運動ノ特徴

從来ノ排日運動ハ多く工人学生等不良分子ノ職業的金儲主  
義ニ過キス從テ糾察隊ノ買收割合ニ容易ナリシモ今回ノ運  
動ハ省市党部ノ後援ニ依リ商人ノ自發的運動ナル事ヲ標榜  
シ居ル手前其ノ検査比較的嚴重ニシテ検査隊ノ買收容易ナ  
ラサルノミナラス日貨通過証ノ発行ヲ為ササル為運搬自由  
ナラス時ニハ沒收ノ虞アリ又省内地方數個所ノ對日經濟絕  
交委員会ノ活動ニ依リ地方ニ壳捌キ困難ナル事情アルヲ以  
テ日貨取扱商人ノ打擊相當大ナルモノノ如シ

（二）支那側ノ予想ノ通從価三割ノ救國資金ハ未タ納メ居ラサ  
ルモノ多キモ検査隊買收費ハ相當多額ニ上リ居レルカ如シ  
日貨ノ販売ハ目下ノ處平常ト變リ無キモ商人ノ壳惜ミ及先  
物取引ノ手控ヘ等ニ依リ市価上向気配ヲ示シ既ニ一割乃至  
數割ノ昇騰ヲ称ヘ居レリ當地總商會筋及対日絶交委員会ニ  
就キ探査スル處ニ依レハ一時在荷約五百萬元ニシテ今日迄  
排日貨ニ依ル損害約二百万元見当ナリト謂フ

（三）邦人側五月排日運動勃發以來本邦人所有貨物ニ對シテハ

第三六〇号

罰について

廈門 10月5日後発

漢口特別市排日会ハ九月三十日當地總商會ニ於テ成立会ヲ開キ執行監察委員ノ選挙及同会組織大綱ノ可決ヲ為シタル外

(一) 対日經濟絶交ヲ実行シ原料ヲ供給セサルト共ニ日貨ヲ購買セス

(二) 波止場、工場、商船、商店ニ停業又ハ怠業ヲ為サシメ

(三) 政府ヲ援助シテ對日革命的外交ヲ行ハシメ

(四) 積極的ニ作戦能力ヲ準備シテ政府外交ノ後楯タラシム等ノ趣旨ノ宣言書ヲ發表セリ本件排貨團体今後ノ活動力如何ナル程度迄進展スヘキヤハ固ヨリ逆睹スヘカラサルモ

兎ニ角相當警戒ヲ要スヘシト觀察スル向多ク目下成行キ  
嚴重注視中ナリ委細公信

北京、上海、南京ヘ転電セリ

712 昭和3年10月5日 在廈門坂本領事より

田中外務大臣宛(電報)

反日委員会による日貨押収および取扱者の処

713 昭和3年10月19日 在福州西沢總領事より

田中外務大臣宛(電報)

福州における最近の排日貨状況について

福州 10月19日後発  
本省 10月20日前着

第一〇三号

往電第九八号ニ関シ

当地ニ於ケル其ノ後ノ反日貨状況左ノ通

一、支那人店舗ノ日貨封印並ニ支那人顧客ニ對スル迫害ノ

事例ハ最近減少シ反日会亦十月初メヨリ救国基金二割ヲ

取立テ封印日貨ノ解放ヲ許可セル為小口ノ差押ヲ受ケタ

ル支商ハ公然売出シヲ為スニ至レリ(大口商人ハ反日会

ノ軟化ヲ見越シ救国基金ヲ納付セス)

二、邦人解及碼頭ノ小舟運搬等引続キ多少ノ脅迫アルモ其ノ都度當館巡査ヲ派遣シ之ヲ監視、保護セシメタル為

「バナナ」ノ外直接ノ危害ヲ受ケタルコト無ク近頃邦人

名義ノ解モ數ヲ増加シ支那人解モ亦時ニ從業スルニ至リ

タル為每船日貨ノ輸入増加シ九月二十二日以降海產物丈ケニテ約一千三百噸ニ達ス尤モ直接支那人宛ノ日本船ニ

拙信機密第二七九号ニ關シ

本省 10月5日後着

第一〇三号

其ノ後當地排日貨状況ハ緩和ノ徵ナク反日委員会ハ日々糾察隊ヲ増員シ日夜日貨ノ押収ヲ企テ一面没収日貨ノ処分ト取扱者ノ処罰等ヲ決議シツツアル處客月二十六日日貨購入ノ故ヲ以テ一支那商ヲ木製檻内ニ拘禁シタル上帝國主義走狗奸商云々ノ旗ヲ立テ之ニ反日会幹部並巡警二名等付添ヒ市中一般ヲ游行シタルヲ以テ本官ハ直ニ交渉員ニ嚴談シ中止セシメタルカ最近日本籍民ニシテ糾察隊ノ為日貨ヲ押収セラル者頻出シ形勢ハ更ニ悪化シ居レリ尤日貨ハ依然内台商宛ヲ以テ小額乍ラ時々輸入セラレ荷役モ無事尚本運動ニ對スル官憲ノ取締振りハ全然誠意ナキモ本邦人ニ対シテハ事端ヲ醸ササル様努メ居ル模様ナリ

北京、上海ニ転電シ福州、廣東、汕頭、香港、台灣總督ヘ暗送セリ

714 昭和3年10月22日 在天津加藤總領事より

田中外務大臣宛(電報)

在支公使、上海ヘ転電シ南京、廈門、廣東、汕頭、杭州ヘ暗送セリ

## 天津における排日貨運動の現状について

天津 10月22日後発

第二九八号

本省 10月22日後着

715 昭和3年10月23日 在南京岡本領事より  
田中外務大臣宛(電報)

王外交部長および蔣主席に対する排日取締の要求について

南京 10月23日後発

本省 10月24日前着

当地反日風潮ニ関シテハ往電第二四六号所報以来各種団体ノ代表及青年学生ヲ中心トスル天津反日大会カ屢々集会決議等ヲナセルモ氣勢頗ル消極的ニテ單ニ形式的決議又ハ伝单撒布ノ程度ニ止マリ具体的進出ノ模様ナカリん處最近南方宣伝員ノ来津多キヲ加ヘタルノミナラス河北省政府ノ移転等ニ依ル警戒弛緩其ノ他種々ノ原因ニテ昨今愈具体化ノ方途ニ進出シ來リ同会ハ十一月一日ヨリ日貨ノ登記ヲ開始シ対日経済絶交ニ移ルヘク本二十一日其ノ詳細ナル實行方法ヲ考究スル筈ナリトノコトナリ当地反日会ノ事ニ当リ居ル者ハ主ニ青年学生ト党部ノ連中ニテ一般商人ハ寧ロ迷惑ガリ居ル様子ナルモ登記制度等實行ノ曉ニハ日貨ノ抵制ニ依リ相当ノ打撃ハ免カレサルヘシ尚日貨ニ對スル今日迄ノ影響トシテハ殆ト挙クヘキモノナク最近学生ノ顧客減少シタルコト位ナルカ兩三日來ノ状勢ニ鑑ミ本邦ヨリノ積荷ヲ一時見合セ居ル者アリトノコトナリ委細郵報

第五八二号  
貴電第九二号ニ閲シ

右貴電ハ十九日接到セルニ付即日本官王外交部長ニ面会シ排日貨運動取締方ニ閲シテハ從来屢々貴部並国民政府ニ申入レアリ之ニ對シ貴方ヨリハ其ノ都度誠意ヲ以テ嚴重取締ルヘキ旨約束セラレタルニ拘ラス事実ニ於テ何等取締ノ効果ヲ認メ難キハ遺憾ナリト言ヘル処王正廷ハ国民政府カ貴国人ノ生命財産保護ノ為反日團ノ不法行為ヲ取締ルニ誠意ヲ有スルコトハ最近上海及蕪湖等ニ於テ發生セル日貨抑留事件ニ閲シ外交部ノ執リタル措置振ニ徵スルモ明カナルベシ唯一般的反日風潮ニ至リテハ政府ニ於テ勿論之ヲ許可セ

ル次第ニ非サルモ其ノ依テ來ル原因ニ顧ミ甚シク圧迫ヲ加フルハ却テ国民ノ感情ヲ激發スルコトナリ面白カラス両國ノ關係改善ニ俟ツヲ得策ト信スト答ヘタルニ付本官ハ日本人ノ生命財産ニ直接危害ヲ加ヘツツアル反日團ノ不法行為ヲ國民政府カ取締ルヘキハ當然ノコトニ屬シ茲ニ本官ノ要求セントスルハ日貨取扱支那商ニ對スル反日團ノ圧迫不行法行為ノ徹底的取締ヲモ含ムモノナリ御承知ノ通各地ノ反日團ナルモノハ愛國運動ノ美名ノ下ニ白昼公然善良ナル商民ノ貨物ヲ強奪シ或ハ多額ノ金錢ヲ強要シツツアリ

而モ貴國官憲ハ之ヲ默認シ何等取締ラサルハ独リ民權伸張ヲ標榜スル国民党ノ精神ニ反スルノミナラス国民政府ノ对外信用ヲ失墜スル一種ノ国恥ニ非スヤ濟南事件直後両国民ノ感情極度ニ刺戟セラレ並ニ不祥事件ノ勃發スヘキヲ憂慮メタル為杞憂ニ終リタルカ右ハ政府當局ニ於テ取締ノ誠意タルヘシト信スト告ケタル処王正廷ハ聊カ興奮ノ氣味ニテ軌外行動禁遏ハ元ヨリ之等地方團体ノ解散スラ極メテ易々

アリタルカ為ニ外ナラス両國ノ關係著シク改善セラレントシタルモ国民政府外交部總司令部一致シテ取締ヲ徹底セシスル此ノ際政府當局ニ於テ一片ノ誠意タニアラハ反日團ノ體ト結合シ日支交渉開始ヲ好機ニ一層排日氣勢ヲ挙ケ貴主席ヲ失脚セシメントスル陰謀アリトノ事ナル處彼等ノ行動ハ真ノ愛國運動ニ非ス只良民ヲ苦メテ私腹ヲ肥スモノナルカ故ニ御承知ノ如ク日本政府カ頗ル妥協的態度ニ出テ両國間諸懸案ヲ解決スル為矢田總領事來寧交渉中ノ事ニモアリ

北京、上海、奉天、青島、濟南、南京ニ轉電セリ

両国ノ親善ヲ阻害スル反日団ノ如キハ此ノ際貴主席ノ威令ニ依リ解散セシムル要アリト述ヘタル處蔣介石ハ此ノ間ノ事情ハ充分承知シ居ルヲ以テ党部トモ篤ト相談ノ上貴意ニ副フ様致スヘシト答ヘタリ

尚本件ニ関シテハ更ニ矢田総領事ヨリモ何分ノ儀上申スル答不取敢

在支代理公使、在支各総領事、在支各領事ヘ転電セリ

上海ヨリ広東ヘ漢口ヨリ上流ヘ北京ヨリ张家口ヘ奉天ヨリ在満各総領事、領事ヘ転電アリタシ

716 昭和3年10月30日 在天津加藤總領事より  
田中外務大臣宛（電報）

天津反日会が作成した日貨登記条例の内容について

天津 10月30日後発  
本省 10月30日後着

第三〇三号

往電〔一四文書〕第二一九八号ニ関シ

天津反日会ハ日貨登記条例ヲ作成シ十一月一日ヨリ日貨ノ

邦商綿糸布業者ノ新規契約ハ近來殆ト成立セス又支那側綿糸布同業組合及洋貨同業組合ハ過日各々総会ヲ開キ各組合員ヨリ大阪及上海ノ支店ニ対シ日貨仕入停止ノ電報ヲ發スルコトヲ決議セル趣ナルモ右ハ反日会ノ圧迫ニ迫ラレタル結果ナリ

北京、奉天、上海、南京、青島、漢口ヘ転電セリ

717 昭和3年10月31日 田中外務大臣より  
在漢口桑島總領事宛（電報）

漢口泰安紡績への圧迫に対し今後の対処方訓  
令

本省 10月31日後4時30分発

第一六一號

長江一帯ノ排貨運動依然トシテ緩和セス貴地泰安紡績製品ノ如キモ通過証尽キタル後ハ壳捌キノ途絶ヘ居ル趣ノ所本件ニ就テハ既ニ適当解決方御尽力中ト存セラルモ泰安紡

績ハ出資者及会社幹部カ日本人ナル外支那ノ原綿ヲ使用シ一千五百人乃至二千人ノ支那工人ヲ雇用シ居レル貴地方ニ於ケル特殊ノ邦人企業ナルニ付若シ工場閉鎖ノ余儀無キニ

登記ヲ行フ意気込ニアル處右ニ依レハ十月十八日以前ニ輸入サレ未タ壳却セラル日貨ヲ相對的禁止ノモノト絕對的禁止ノモノト二種ニ区分シ（前者ハ文化交通医薬上必要ナル物品及日本ニ産スル原料中支那ノ製造又ハ生活上欠クヘカラサルモノ後者ハ相對的ニ禁止セラル以外）各省ヲシメ登記後一定期限内ニ之ヲ壳却セシムルコト登記ノ期日以後ニ未登記ノ日貨ヲ発見セルトキハ之ヲ没収シ其ノ壳却代金ヲ救国基金トスルコト登記ヲ了セル絶対禁止ノ日貨ニ対シテハ検査ヲ受ケタル後十%乃至九十%ノ救国基金又登記済ノ相對的日貨ニ対シテハ最低五%ノ救国基金ヲ納付セシメ販売スルコトヲ許ス組織ナリ右ニ対シ総商会内ニテハ甚シク是ヲ苦痛トシ明年一月迄若ハ手持品ノ一掃セラル迄抵制延期方又ハ規定ノ緩和方ヲ主張スル向多ク兔角反日会ノ主張ニ対シ躊躇ノ模様アリ反日会カ其ノ決議セル布告文五百枚ヲ総商会ニ送付シ其ノ捺印ヲ求メタルニ対シ未タ之ヲ差押ヘ評議中ノ趣ナリ

反日運動ノ經濟的影響ハ今後ニ於テ現ハルヘキモ現ニ当地至ルカ如キコトアリテハ本邦人ノ対支企業進展ノ趨勢ニモ影響スル所少ナカラスト被存ニ付テハ右御含ノ上同社製品ノ運輸及壳捌キヲ妨害スルカ如キ事態阻止方ニ関シ貴官ニ於テモ今後共適當御配慮アリタク成行ハ隨時電報アリ度シ

718 昭和3年11月2日 在漢口桑島總領事より  
田中外務大臣宛（電報）

泰安紡績製品の排貨に対し交渉員に問題の重  
要性を警告について

漢口 11月2日後発  
本省 11月3日前着

第三八六号

貴電〔一七文書〕第一六一號ニ關シ

泰安紡績製品ニ対スル排貨ハ當地市党部及排日团体ノ干渉圧迫並支那人紡績業者ノ差金モアル次第ト認メ曩ニ近藤専務トモ協議ノ上先ツ泰安紡績ヲシテ市党部及反日会方面ニ非公式ノ交渉ヲ開始セシムルト共ニ本官ハ交渉員ニ公文ヲ以テ会社ノ性質並目下ノ窮状ヲ説明シテ速ニ不法ノ排貨運動禁絶方嚴重交渉シ更ニ本二日田中副領事ヲ派シテ交渉員

トノ間ニ種々懇談ヲ遂ケシメタル處交渉員ハ我方ノ主張ヲ充分了解シタルノミナラス若シ万一工場閉鎖トナラハ支那産棉花ノ消化不能及工人ノ失業等由々敷問題ヲ惹起スヘキヲ憂慮シ出来得ル限り関係筋ト協議シテ何等方法ヲ講スヘク尚結果何分ノ儀通知スヘキ旨回答セル趣ナリ

719 昭和3年11月3日 在上海加藤副領事より  
田中外務大臣宛（電報）

## 上海最近の排日貨概況について

|     |         |
|-----|---------|
| 上 海 | 11月3日後発 |
| 本 省 | 11月4日前着 |

第六三号

## 其ノ後排貨ノ概況

綿糸粗布類地方荷捌並ニ輸出物共比較的順調ヲ維持シ居リ邦人紡績ハ既ニ來年三、四月物迄完應シツツアル有様ナルニ輸入綿布先蕪湖、無錫積出品倉出出來サル由ニテ南京、鎮江、寧波諸方面再ヒ手控ヘラレ広東方面稍々緩和ノ色アル一方天津方面積止或ハ転売入電アリ形勢面白カラス砂糖依然沈靜塩鱈入荷総額二十万反内露国人扱沿海州產約十万

720 昭和3年11月3日 在天津藤田總領事より  
田中外務大臣宛（電報）

天津

天津反日会の日貨検査着手とその影響について

|     |         |
|-----|---------|
| 天 津 | 11月3日後発 |
| 本 省 | 11月4日後着 |

第三〇七号

反ニ付テハ多額ノ課金ト運動費ヲ支出シ出荷ノ諒解出来タルモ他ハ未解決諸雜貨類何レモ不味燐寸工場滯貨ニ悩ミ莫大小、石鹼、皮革商邦人工廠依然操業短縮シ各種邦品ノ抑留沒收モ止マス十一月以後救國基金ヲ撤廃シ絶対荷動阻止実行ノ噂サヘアリ一週間程ヨリ日支交渉成行ニ殊更煽動行ハレツツアルカ如ク市中不安加ハリ排貨盛返シ氣味之ニ加フルニ久シク緩慢ヲ統ケン当地金融市場ハ最近中北支一帯ヘノ農產買出資金トシテ多額ノ現銀ノ流出ヲ見タル為頓ニ引締リ弗銀相場七二兩五内外ト近來ノ昂騰ヲ示シ且ツ本邦金解禁实行成行懸念ニ對日為替一夜ニ反落氣配モアリ輸入商談モ目先一寸頓挫ノ状ニ陥リツツアルカ如シ

## 往電第三〇五号ニ閲シ

一、一日以来反日会ハ検査隊ヲ七箇所ニ分派シ日貨検査ニ着手シタルカ洋紙、毛糸、揮発油、蠟燭、砂糖等若干ヲ

抑留シタリトノコトナリ支那側雜貨商人ハ日貨ノ貯蔵多

キ為請願團ヲ組織シ市党部及總商會ニ至リ反日会ノ登記並ニ徵取金ノ緩和方ヲ請願セリト謂フ

二、在庫品ノ八、九割方ヲ本邦品ニテ占メ居ル綿糸布商、

洋紙店、洋雜貨店等ハ勿論其ノ他各商モ日貨ノ取引ヲ暫

時中止シ時期ヲ待チツツアル狀態ナリ一方日本關係ノ裕

元、裕大紡績ヲ始メ日本ニ關係無キ他ノ各紡績其ノ情勢

ノ不安定ナルニ鑑ミ數日前ヨリ出荷ヲ見合セツツアリ

三、今日迄ノ處ハサシテ重大ナル影響無キヤニ見受ケラル

ルモ将来相當悪化ノ惧無キニ非ス但シ目下各方面トモ事

態ノ推移ヲ見送リ居ル為日貨ノ移動ハ停頓ノ状態ナリ

北京、奉天、上海、青島、漢口、南京へ転電セリ

721 昭和3年11月5日 在福州西沢總領事より  
田中外務大臣宛（電報）

## 反日会の行動再び露骨になりたる模様について

722 昭和3年11月7日 在上海加藤副領事より  
田中外務大臣宛（電報）

## 上海特別市反日会の対日經濟断交措置強化について

上海特別市反日会ハ昨六日付ヲ以テ新聞紙上ニ左ノ廣告ヲ  
発表セリ「執行委員会ノ決議ニ依リ十月三十一日付日貨通  
行証三五三七二号限リ以後工業機械原料必需品以外一切通  
画大綱ノ修正ヲ発表セルカ主要ナル点ハ繼續期間ヲ関税自  
主実行平等互恵新条約実施迄トシ十月迄ニ没収日貨ヲ競売  
ニ付スルコト十一月以後没収品ハ十日毎ニ競売ノ事又十一  
月以後抑留日貨ノ処分法トシテ商品価格百弗以下ノ物ニ対  
シ罰金トシテ救國基金六割ヲ、百弗以上五百弗迄七割、五  
百弗以上一千弗以下八割、一千弗以上千五百弗迄九割ヲ課  
シ千五百弗以上没収ノ事、其ノ外商標或ハ包装ヲ改メ運搬  
ヲ謀リタルモノニ対シテハ其ノ数量多寡ヲ論セス即時商品  
全部ヲ没収シ商人ハ官民懲罰条令ニ照シ処分スル事等ニシ  
テ從来ニ比ヘ一層黃暴辰リヲ發表セリ

商第六三号 上海 11月7日後発  
本省 11月7日後着

723  
昭和3年11月9日 在濟南西田總領事代理より  
田中外務大臣宛（電報）  
濟南における經濟封鎖の意図について

上海特別市反日会ハ昨六日付ヲ以テ新聞紙上ニ左ノ広告ヲ  
發表セリ「執行委員会ノ決議ニ依リ十月三十一日付日貨通

## 濟南における經濟封鎖の意図について

行証三五三七二号限り以後工業機械原料必需品以外一切通  
行証ノ発行ヲ為ササルコト」尚同会ニ於テ対日經濟連交計

当地ニ於ケ

件ノ解決ヲ急速有利ニ導カントスルト同時ニ当地市場ヲ潤  
渴シ右ハ専ラ我派遣軍ノ駐屯ニ依ルコトヲ当地一般支那人  
ニ思ハシメ以テ排日氣勢ヲ煽ラントスルニアルモノノ如シ  
目下成行厳重注視中ナルモ不取敢  
北京、青島、天津、上海、南京、漢口、芝罘へ転電セリ

724 昭和3年11月13日 在天津加藤總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

天津における反日会の活動状況について

天津 11月13日後発 本省 11月14日前着

第三一五号

往電第三一一号ニ関シ

(一)其ノ後反日会ハ商民側ノ反対ト市党部ノ調停ニ依リ規定  
ノ救国基金率ヨリ九割ヲ減スル大讓歩ヲ為シ之ヲ布告ス  
ルト共ニ即時納金方ヲ商民ニ勧告シタルモ商民側ハ尚承  
知セヌ徵収取消又ハ延期方ヲ主張シ目下双方対峙中ナリ  
(二)排日会ハ新ニ日貨検査分処ヲ市内十一ヶ所ニ設置シ昼夜  
ニ亘リ運(脱)貨物ヲ検査シツツアル外木檻三十個ヲ製

(三) 一日以来邦人関係ニテ検査処ニ貨物ヲ抑留サレタルモノハ樺村洋行、中裕洋行、シンギ洋行ノ三軒ニ過キス而モ交渉ノ結果何レモ直ニ解放セラレタリ

北京、上海、奉天、青島、濟南、南京、漢口へ転電セリ

725 昭和3年11月15日 在漢口桑島總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

開封、鄭州などの排日貨状況悪化に関する情  
報について

漢口 11月15日後発  
本省 11月15日後着

第四〇一號

開封、鄭州ニ於ケル排日貨運動ハ客月下旬頃ヨリ漸次深刻トナリ省市党部以下七十余团体ノ支援ニ依ル対日経済絶交後援会ハ随所ニ活動シテ日貨不買、土貨不売ヲ厳格ニ実施

河南方面ノ排日運動ニ関シ十二日鄭州ヨリ帰来シタル日本棉花出張員ノ談話要領左ノ通

885

シ目下輸出入共本邦関係ノ取引絶無トナレリ但シ邦人ノ生  
命財産ノ保護ハ周到ニシテ一般商民ノ対日感情モ何等悪化  
シ居ラス尚且下鄭州在留邦人数七名アリ  
在支公使、上海、南京ニ転電セリ

726 昭和3年11月20日 在中國堀臨時代理公使より  
田中外務大臣宛（電報）

反日会の日貨排斥状況ならびに商務総会との  
対立について

北 京 11月20日後発  
本 省 11月20日後着

第一五九〇号  
往電第一五四一號ニ閲シ

一、当地反日会ハ其ノ後各所属機関ノ組織完了シ十二日付  
ヲ以テ十五日以前到着ノ日貨ヲ相對的禁止（甲）及絶對的禁  
止（乙）ノ二種ニ分類シ十五日ヨリ三十日迄ノ間ニ登記ヲ行  
フコト、甲ハ百分ノ五、乙ハ百分ノ二十乃至九十ノ救国  
基金（前電予告ノ率ヨリ減少）ヲ徵スルコト十五日以後  
ハ日貨ノ輸入ヲ禁スル事等ヲ規定セル日貨登記条例及全

國反日会建議ノ奸商懲戒条例（郵報ス）ヲ公布シ次イテ  
十四日以来宣伝委員会ノ作成セル四十種ノ反日標語ヲ各  
所ニ貼付シ又同日政治分会、衛戍司令部、市政府等七  
機関ノ代表ヲ招待シ了解応援ヲ求ムル等着々運動ニ取掛  
レリ

二、然ルニ之ヨリ先前電反日会ノ予告ニ依リ商務総会及商  
民協会ハ夫々基金納付問題ニ關シ擬議中ナリシカ只今極  
端ニ疲弊セル当地ノ商民トシテハ到底其ノ負担ニ堪エス  
トテ反対運動ヲ起シ商務総会ハ十三日納税不承認ヲ決議  
シ又商民協会ハ同日市党部ニ對シ登記及納税規定ノ取消  
要求書ヲ提出シタリ反日会側ハ之ニ對シ右規定ハ全国的  
ノモノナルヲ理由トシテ強硬ナル態度ヲ示シ目下双方ノ  
間ニ折衝ヲ重ネツアリ其ノ結果各商店共今日迄登記ヲ  
為スモノ無ク検査隊モ未タ活動シ居ラス

三、右ノ状態ニテ当地邦商側ニハ未タ別段影響ナキモ日本  
砂糖ノ輸入ハ天津方面ノ排日運動ニ依リ最近取引中止ノ  
状態ニアリ只药品商ハ却テ支那商ヨリ多量ノ見越註文ヲ  
受ケツツアル由ナリ

四、其ノ他各活動写真場ニ於テハ開演早々「濟南事件ヲ忘

ルル勿レ」トノ標語ヲ映写シ又正金銀行券ニモ同様ノ標  
語ヲ落書シ居レリ

天津、上海、南京ヘ転電セリ

727 昭和3年11月27日 在天津加藤總領事より  
田中外務大臣宛（電報）

反日会は日貨登記期間満了につき各商店に対  
し日貨検査開始について

天 津 11月27日後発  
本 省 11月27日後着

往電第三二五号ニ閲シ

第三二五号

（七四文書）

（一）日貨登記期間ハ十一月十五日迄ナリシカ商民側ノ請願ニ  
依リ更ニ十日間延長シ十一月二十五日ヲ以テ満了セルヲ以

テ反日会ハ二十六日朝ヨリ検査員總出ニテ各商店ニ就キ日  
貨検査ヲ開始シタルカ應セサルモノニ対シテハ貨物ヲ没収  
シ其ノ或者ハ検査隊ノ為日貨ヲ没収運搬シ去ラレタリトノ  
事ナルカ一方検査ヲ阻止セサル商家ニ対シテハ日貨ヲ検査

セシメ直ニ之ヲ没収セス貨物ノ名称數目等ヲ記帳シ持主ノ  
事ナルカ一方検査ヲ阻止セサル商家ニ対シテハ日貨ヲ検査

本 省 11月28日後着

728 昭和3年11月28日 在天津加藤總領事より  
田中外務大臣宛（電報）

天津各行商同業連合会の反日会工作反対の示  
威運動と市党部に対する陳情書提出について

本 省 11月28日後着

第三二七号

南京 11月28日後発

往電第三二五号ニ関シ

本省 11月29日前着

天津各行商同業連合会（総商会カ会長ノ辞職幹部ノ欠席等

ニテ機能ヲ發揮シ居ラサル為之ニ代リ反日会ニ対抗セント

共産党」「保護商権」等ノ標語ヲ記セル小旗ヲ打翳シ反日

会工作反対ノ一大示威運動ヲ挙行スルト共ニ先ツ市党部ニ

到リ職員ト接見シ陳情書ヲ提出シ且(一)日貨抵制ハ商人連合

シ自ラ実行ス(二)拘留省民ノ開放(三)没収貨物及帳簿ノ返還(四)

暴動首魁ノ懲弁(五)商人ノ損失賠償(六)絶対ニ省民ノ権利保護

(七)円満目的達成セハ即日営業回復ノ七項ヲ要求シ次テ警備

司令官、市政府、公安局等ニモ赴キ同様請願スル処アリタ

ルカ官憲側ニテハ二十八日午後回答ヲ与フヘキ筈ナリ

北京、上海、奉天、青島、濟南、南京、漢口へ転電セリ

~~~~~

729 昭和3年11月28日 在南京岡本領事より

田中外務大臣宛(電報)

首都反日会の決議事項について

十以内ト定ムル事

四、今後ノ獎励金ハ當該事件解決後百分ノ十以内ヲ支給ス
ル事
在支公使、上海へ転電セリ

730 昭和3年11月29日 在天津加藤總領事より

田中外務大臣宛(電報)
天津各行商同業連合会の陳情書に対し市党部
側の回答について天津 11月29日後発
本省 11月30日前着第三二八号
(七二八文書)
往電第三二七号ニ関シ

(一)二十八日夜党部側ハ關係諸官憲ニモ協議ノ上請願団代表

者ニ対シ反日会ノ工作ハ全国民ノ愛國運動ニテ已ムヲ得

サル所以ナルヲ説キタル上七項ノ請願ニ対シ一ハ承認シ

難シ二、三ハ調査ノ上適当ニ考慮スヘシ四ハ考慮ノ余地

ナシ五ハ商入カ登記ヲ拒絶シ自ラ招キタル損失ナレハ賠
償ノ責ナシ六ハ合法ノ範囲ニ於テ当然保障ス七ハ即日店

第六八七号

南京 11月28日後発

二十七日首都反日会ハ左ノ通り決議セリ

一、上海ニ於テ登記済ノ石炭当地着ノ際ハ一回限り百分ノ

十ノ救国基金ヲ追納セシムル事

二、日支交渉ニ対シ

(1)十二月一日反日運動宣伝週ヲ挙行スヘキ事

(2)南京学生連合会及各学校ニ通知シ積極的ニ是カ宣伝ヲ

為サシムル事

(3)左記本会ノ三大主張ヲ根拠トシ本件ノ交渉ヲ取組フ様

中央党部及国民政府ニ電請スル事

(4)日本ノ撤兵後交渉ヲ開始スヘキ事

(5)日本ハ條約廢除ノ誠意ヲ表示スヘキ事

(6)南京、漢口、濟南各事件及條約廢除ハ同時ニ解決ス

ヘキ事

(7)上記三大主張ヲ根拠トシ一致声援スル様全国ニ通電ス

ル事

三、從来ノ仇貨沒収ニ對スル獎励金ハ沒収物価ノ百分ノ二

ル事

反日会は出入荷物の検査を開始し日貨に対する

る登記を強制実施について

731 昭和3年11月30日 在中國堀臨時代理公使より

田中外務大臣宛(電報)

北京、上海、奉天、青島、濟南、南京、漢口へ転電セリ
(一)二十八日中ハ検査ヲ続行シタルモ二十九日ハ検査ヲ中止
セル趣ナリ
~~~~~北京 11月30日後発  
本省 11月30日後着第一六四二号  
(一六四五文書)  
往電第一六一五号ニ関シ一、反日会ハ二十三日ヨリ一部小売店ニ就キ日貨ノ調査ヲ  
開始シタルモ殆ト形式的ニシテ別段登記ヲ強制シ居ラサ  
ル處二十五日ヨリハ前門駅及朝陽門等ニテ出入貨物ノ檢  
査ヲ開始シ日貨ニ對シテハ荷主ヲシテ反日会ニ赴カシメ  
登記ヲ強制シ支那人ノ輸送スル日貨ヲ差押ヘタル為一般

商人側モ俄ニ緊張シ数日来前門駅着ノ日貨ハ荷主ニ於テ何レモ其ノ取引ヲ差控ヘ居レルカ今日迄ノ処邦商ノ貨物（往電第一六三九号順天時報ヲ除ク外）ニハ手ヲ付ケ居ラス

二、一方前電商務総会ノ反対運動ニ対シ反日会ハ依然トシテ強硬ナル態度ヲ示シ反革命運動ノ名目ヲ付シ脅迫的宣伝ヲ為シソツアル處当面商民協会側モ亦前電ノ税率減額ヲ以テ満足セス更ニ二十七日付ヲ以テ（一）現存貨物ノ全部免税（二）註文済未到着貨物ノ税率減額（三）日貨検査ノ共同実施等ノ条件ヲ反日会ニ提議シ居ル由ナリ

三、從テ前頗強制登記ノ者ノ外未タ自動的ニ在庫品ノ登記ヲ申出シル者無ク予定ノ救国基金ハ一厘モ徵収出来サル為反日会ハ開設以来使用シ居ル百数十名ノ掛員ノ手當等経費ノ調達ニ窮シ居ル模様ニテ最近北平政治分会、衛戍總司令部等ニ宛テ資金ノ一時の融通ヲ願出タル由ナリ

四、尚最近天津ニ於ケル支那商ノ反日会反対運動ニ対シ當地商人ハ異常ノ注意ヲ払ヒ居レルカ二十九日ノ河北民國日報（省党部機關紙）ハ天津商人ノ運動ハ反革命ノ行為ナリ政府ハ宜シク之ヲ厳罰スヘシトノ趣旨ノ社説ヲ掲ヶ

ヲ行ヒ私腹ヲ肥ヤスヲ黙認シ居ル積リナルヤ汕頭ニ於テハ反日支那人ハ支那人家主ヲシテ日本人借家人ニ立退キヲ強要センメ支那石炭商ノ日本炭取扱ヲ禁遏シソツアル由ナルカ現ニ上海ニ於テモ反日会ハ依然暴威ヲ逞シウシ日貨ノ差押ハ毎日行ハレ某支那商ハ自己ノ商品取戻ノ為三万五千弗ヲ払ハシメラレタル由ナルカ斯ノ如キハ純然タル公許ノ匪賊行為ト称スヘシ而モ匪賊ハ逮捕セラル場合銃殺セラルモ反日會員ハ日貨ヲ強奪シテ私腹ヲ肥ヤシ而モ支那官憲ヨリハ愛國者トシテ持上ケラルカ如キ事態ハ誠ニ支那空前ノ發明ト謂フヘク之以上不法ナル營利事業アルヘシヤ

（2）目前日支交渉ノ行詰リニ乘シ反日団体ノ強奪行為益々盛ナルヘク之ニ対シ支那官憲ハ民衆ノ愛國運動ニシテ干渉出来スト弁解スヘキハ察スルニ難カラス然レトモ日本ニシテ排貨運動ヲ阻止セシメント欲スレハ之カ實行出来得ヘキカ此ノ点ハ日本ノコトニ付我等ヨリ云フノ要ナン唯借問シタキケル支那ノ評判ヲ失墜ス外国人ノ支那觀ハ昔日ノ夫レナラス排日運動ハ実ニ新支那ニ対シ大ナル「プラツクマーク」

テ反日会ヲ後援シ居ルニ反シ恰モ同日ノ新晨報（山西系機関紙）ハ同シク社説ニテ天津ノ該運動情況ヲ略述シタル上國貨ノ充実セサル今日日貨ノ排斥ヲ徹底セシムルハ困難ナリ寧ロ此ノ際各方面一致シテ國貨ノ生産発達ヲ計リ一面救國基金ノ徵収ヲ取消ス登記ノミヲ行フヘシトノ趣旨ヲ以テ商民側ニモ同情セル論説ヲ掲ケタリ

天津、上海、南京へ転電セリ

732 昭和3年12月1日 在上海矢田總領事より  
田中外務大臣宛（電報）

「ノース・チャイナ・デイリー・ニュース」  
排日運動批判の論説掲載について

上海 12月1日後発  
本省 12月1日後着

第八九三号  
三十日「ノース・チャイナ・デイリー・ニュース」ハ Disgraceful Boycott ト題シ痛烈ニ排日運動ノ無法ナルヲ攻撃スル社説ヲ掲ケタルカ論旨左ノ通  
国民政府官憲ハ何時迄排日運動者カ愛國的仮面ヲ冠リ略奪

ヲ付スルモノナリ（二）支那ノ對外貿易上ノ損失並ニ国内物価騰貴ヲ來タン國民ハ安価ナル日本品ノ供給ヲ奪ハレ生活ヲ圧迫セラル殊ニ最重視スヘキハ國民政府官吏カ宥シ難キ不法行動ヲ黙認シ民衆ヲシテ犯罪ヲ是認セシムルニ至ル点ナリ要スルニ排日團ノ如キ官憲ヲ後援者トスル職業的惡漢ノ跋扈スルコトハ社會ニ重大ナル害毒ヲ与フルモノニシテ到底許シ難シ

在支公使、南京、天津、漢口、廣東、福州、汕頭、廈門、青島、奉天ニ転電セリ

733 昭和3年12月1日 在漢口桑島總領事より  
田中外務大臣宛（電報）

漢口反日会は王外交部長宛に日中不平等条約撤廢まで排日運動を休止せざる旨電報について

漢口 12月1日後発  
本省 12月2日前着

新聞所報ニ依レハ當地反日会ハ十一月二十九日漢口市民ヲ

代表シ王外交部長宛日支不平等条約ノ撤廃、互恵条約ノ締結ヲ見ル迄ハ絶対ニ排日運動ヲ休止セサルヲ以テ当局ハ宜敷ク嚴重交渉シ其ノ間毫モ讓歩スルコトナク且交渉経過ハ

日本カ更ニ誠意ヲ示ササル以上本会ハ湖北省民ヲ率ヒ極力全部公表シ以テ民意ヲ安ムセシメム事ヲ切望スル旨電報シ又省党部ヨリモ同日中央執行委員会ニ對シ日支交渉ニ當り政府ヲ支援スヘキヲ以テ宜敷ク徹底的解決ヲ齋ス様外交當局ニ命セラレタシ云々ト電報セル由

北京、上海、南京へ転電セリ

734 昭和3年12月3日 在天津加藤總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

天津における排日貨運動の総合的観察について

天津 12月3日後発  
本省 12月4日前着

(1) 第三三三号  
一、当地反日最近ノ経過ニ就テハ屢次電報或ハ公信ヲ以テ報告セシ通リナル処同運動ニ関スル一般ノ観察ヲ綜合ス

(1) 当地邦商側ニ於テハ從来ノ排日運動ノ経験ニ徴シ  
(イ) 同運動ノ永続性乏シカルヘキコト

(ロ) 或ル期間排貨運動ノ影響ヲ蒙ルト雖排日運動終熄ノ等ノ理由ニ依リ比較的楽観ノ体ナリシ処今次ノ排日運動モ既ニ相當長引キ且シ最近支那商民對反日派ノ对抗モ結局商民側ノ屈服トナルニ至ルヤ相當前途ヲ憂慮ス

ルニ至レル者モ鮮カラス中ニハ商売停頓ノ為悲鳴ヲ挙クルニ至リタル者モ出ツルニ至リタルモ此ノ際領事館側ヨリ正式抗議等ノ措置ニ出ツルモ有効ナル結果ヲ期シ難キ上徒ニ我方ノ弱腰ヲ見透サルル虞アリトテ躊躇ノ模様ニテ大体排日運動ノ推移ヲ慎重研究シツツ形勢ヲ觀望スルノ外無シトノ意見ナルヤニ認メラル

(2) 支那官憲側ニ於テハ黨務指導委員会ヲシテ商民側ニ對シテハ反日会側ニ対抗ノ為(脱)罷市等極端ナル策ニ出ツルコトハ彼等自身ノ為不利ナル所以ヲ説クト共ニ

反日会側ニ對シテハ商民ヲ追及スルコト酷ニ失スル場合ニハ反日会ノ真ノ目的ヲ達シ得サルノミナラス却テヲ觀望スルノ外無シトノ意見ナルヤニ認メラル

735 昭和3年12月4日 在漢口桑島總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

泰安紡績製品の排貨取締方に關する交渉署との折衝経過について

漢口 12月4日後発  
本省 12月5日前着

第四二〇号  
往電(七八文書)

タル場合ニ於ケル臨機ノ交渉ヲ除キ一般的ニハ暫ク形勢ヲ觀望スルノ外ナカルヘキカト考ヒ居ル次第ナリ  
二、反日運動ノ不当ナルコトヲ指定シ支那側ニ對シ嚴重ナル抗議ヲ提出スルト共ニ取締ノ要求ヲナスコトハ容易ナルモ前述ノ如キ事情モアリ実効ヲ望ミ難キハ勿論交渉ノ努力シツツアルモノノ如シ

共産党ニ乗セラル機会ヲ作ル所以ナルヲ説カシメ其ノ輕挙ヲ戒メ以テ商民對反日会両者ノ妥協ヲ謀ラント

三、邦人側ノ影響トシテハ十月下旬以來貨物ノ移動殆ト停頓シ壳掛代金ノ回収亦困難トナリタル為資金ノ運轉円満ヲ欠キ其ノ間金利、倉敷料其ノ他ノ損失亦鮮カラス銀行側ニテ多數輸入手形ノ支払延期ヲ許シ居ルモ一方日本人關係ノ預金引出し最近激増ノ傾向アリ為ニ市中ノ小銀行ハ余程困難スルニ至ルヘキカト伝ヘラル

在支公使、奉天、青島、濟南、上海、南京、漢口ニ転電セリ

本月三日田中ヲシテ再応交渉員ト懇談セシメ一方交渉員ノ希望モアリ工人方面ヨリ市党部ニ対シ請願書ヲ提出セシメ内部ヨリ反日会ノ迫害除去方運動セシム等彼此呼応シテ折角努力中ナルモ兔ニ角反日会ハ全国ニ亘ル政治的排日運動ノ機関ニシテ茲數日來中央ヨリハ排日運動拡大ヲ申含メ来リタル節モアリ当地政権ノ責任者李宗仁ヲ始メ各當局者ハ真向ヨリ取締ノ手ヲ加フルコトヲ躊躇シ居ル状況ニテ本件ノ如キ事理明白ナル事態ニ対シテモ因循姑息ノ態度ニ出テ居ル次第ナレハ此ノ上一層嚴重交渉ヲ進ムル要アルヘシト存セラル其ノ後ノ成行御参考迄

在支公使、上海、南京ニ転電セリ

736 昭和3年12月5日 在天津加藤總領事より

田中外務大臣宛(電報)

天津 12月5日後発

本省 12月6日後着

第三三六号 往電第三三四号ニ関シ

#### 天津反日会の排日貨深刻化の情況について

(1) 反日宣傳週タル第一日タル三日ハ準備整ハサル為左シタルコトナカリシモ四日ニハ講演隊五隊ヲ組織シ支那街各所ニ於テ反日講演ヲ為セル一方各要地街上ニ種々ノ反日標語、激越ナル画報濟南事件ノ写真等ヲ掲ケ又反日歌ヲ作ル等宣伝ニ努メツツアリ

(2) 反日会ハ各租界日貨取扱支那商ニモ其ノ手ヲ伸ハシ十二月一日ヨリ十日迄ノ登記延長期間内ニ必ス日貨ヲ登記シ通行証ヲ受領スルコト若シ遵守セサル時ハ小売ト卸売トヲ問ハス支那街通過ノ際一律ニ貨物ヲ没収スルト共ニ懲弁檻民条例ニ照ラシ嚴重処罰スヘキ旨通告セリト云フ又同会ハ租界ト支那街トノ境界線ニ多數ノ検査員ヲ派遣シ通行ノ貨物ニ対シ嚴重検査ヲ行フコトセル趣ナリ

(3) 市党部側ニテハ關係方面ニ対シ日本人カ支那人ニ対シ不平等ノ待遇若ハ虐待ヲ為シ又ハ其ノ傭入支那人ヲ虐待スルカ如キコトアル時ハ直ニ党部ニ報告スヘシ党部ニテハ之ニ対シ適當ノ措置ヲ為スヘキ旨通告セリトノコトナルカ右ハ日本人ニ対スル支那人ノ被傭停止ノ下準備ナルヘシト観測スル向アリ

(4) 反日会ハ麦粉同業者ヨリ日本小麦ノ徵収免除方請願ヲ受

ケ居タル處右ハ民衆必需品ナルニ顧ミ相對的日貨トシテ価格百元ニ付五十仙ノ救国基金ヲ徵収スルニ止マルコトトシ其ノ旨回答セリト云フ

(5) 支那街支那人印刷業者ハ洋紙(市場販売ノ洋紙ハ殆ト全部日本製品)ノ入手困難ナル為休業ノ已ムナキニ至リ多数ノ失業工人ヲ出セル為市政府当局ニ対シ救濟方請願セリトノコトナルカ党部側ニテハ國產品ト西洋品ヲ代用セシムヘク苦心シ居ル趣ナリ

(6) 四日迄登記済ノ商店ハ計千百九十余ナリトノコトナルカ今後反日会ノ資金豊富トナルニ伴ヒ其ノ運動益々深刻化シ行クヘキヤニ觀測セラル

北京、上海、奉天、青島、濟南、南京、漢口ニ転電セリ

737 昭和3年12月6日 在漢口桑島總領事より

田中外務大臣宛(電報)

今次の排日運動は周到な組織と統制の下に実行され官憲の取締りは期待できざる情況について

(1) 反日宣傳週タル第一日タル三日ハ準備整ハサル為左シタルコトナカリシモ四日ニハ講演隊五隊ヲ組織シ支那街各所ニ於テ反日講演ヲ為セル一方各要地街上ニ種々ノ反日標語、激越ナル画報濟南事件ノ写真等ヲ掲ケ又反日歌ヲ作ル等宣伝ニ努メツツアリ

(2) 反日会ハ各租界日貨取扱支那商ニモ其ノ手ヲ伸ハシ十二月一日ヨリ十日迄ノ登記延長期間内ニ必ス日貨ヲ登記シ通行証ヲ受領スルコト若シ遵守セサル時ハ小売ト卸売トヲ問ハス支那街通過ノ際一律ニ貨物ヲ没収スルト共ニ懲弁檻民条例ニ照ラシ嚴重処罰スヘキ旨通告セリト云フ又同会ハ租界ト支那街トノ境界線ニ多數ノ検査員ヲ派遣シ通行ノ貨物ニ対シ嚴重検査ヲ行フコトセル趣ナリ

(3) 市党部側ニテハ關係方面ニ対シ日本人カ支那人ニ対シ不平等ノ待遇若ハ虐待ヲ為シ又ハ其ノ傭入支那人ヲ虐待スルカ如キコトアル時ハ直ニ党部ニ報告スヘシ党部ニテハ之ニ対シ適當ノ措置ヲ為スヘキ旨通告セリトノコトナルカ右ハ日本人ニ対スル支那人ノ被傭停止ノ下準備ナルヘシト観測スル向アリ

(4) 反日会ハ麦粉同業者ヨリ日本小麦ノ徵収免除方請願ヲ受

第四二四号

漢口 12月6日後発  
本省 12月7日前着

今次ノ排日運動ハ各地共殆ト同様ノ方法ニ依リ当初ハ外交後援会対日經濟絶交委員会次テ反日会等表面ハ民衆ノ仮面ヲ着ケタル排日機關ヲ第一線ニ立タシメ背後ニ中央党部ノ強力ナル支持ト操縦ニ依リ各地ノ省支党部之ヲ指揮監視シ極メテ巧妙且周到ナル組織ト統制ノ下ニ実行シ居ルモノニシテ南京ニ於ケル日支懸案交渉ノ進捗ニ伴ヒ益々深刻味ヲ加ヘ次テ交渉頓挫ニ依リ更ニ一段ノ悪化ヲ見ルニ至レリ右ニ関シ過般上海邦字新聞ノ所報ニ依レハ日支交渉停頓スルヤ譚延闔ノ名ヲ以テ全國ニ排日運動ノ拡大ヲ慾望シタル訓電ヲ發シタル由之カ真偽ニ付テハ俄ニ即断シ難キモ当地ニ於ケル最近ノ事態ヨリ見レハ寧ロ右事實ヲ肯定スルニ足ルモノ鮮カラス即チ公安局ハ夜間窃ニ日貨ヲ運搬スル支那商ヲ嚴重查察スヘキ旨所属警察機關ニ訓令シタル由五日中山日報ニ報道セラル又最近ニ至リ公安局及特別区所属巡警ハ見張中日貨ヲ運搬スル支那人ヲ取押ヘ

商品ハ警察署ニ一時抑留シテ反日会ニ引渡ス等全ク官憲力

反日会ヲ援助シテ日貨排斥ヲ実行シ一方巡警ノ如キ下級官吏ハ右ニ依リ反日会ヨリ獎励金ヲ支給セラレ臨時ノ収入ヲ

図リ居ル事トモナルヲ以テ自ラ進テ之カ検挙ニ熱中スルノ

実情ニテ此處數日來邦人關係ノ分ノミニテモ數件發生セリ

右巡警ノ排日運動參與ニ関シテハ甚不都合ノ次第ニ付特ニ交渉員ニ嚴重詰問中ナルカ同人始メ當地責任者ハ反日会ノ行動ニ對シ民衆ノ愛國運動ニ藉ロシテ其ノ無策ヲ廣言スル等其ノ態度全ク無責任極マルモノニシテ之カ取締ヲ實行スルカ如キ事目下ノ情勢ニ於テハ到底期待シ難シ往電第四一

三号末段ノ通今後益々問題ハ紛糾スルモノト覺悟セサルヘカラス尚叙上ノ事態ニ對シ本官ハ所有機會ヲ捉エテ嚴重交渉ヲ試ミ折角努力中何等御参考迄

在支公使、上海、南京、青島、天津、濟南、廣東へ轉電セリ

738 昭和3年12月6日 在上海加藤副領事より  
田中外務大臣宛（電報）

#### 上海排日運動悪化の情況について

分減少

綿糸ハ五月迄輸入三千六百俵昨年同期ヨリ半減又後六ヶ月輸入一千八百俵昨年同期ニ比ヘ殆ト半減綿布ハ五月迄輸入一千三百二十万「ヤール」価格約三千七百万円ニシテ昨年同期ニ倍加ノ好勢ナルニ引換ヘ六月ヨリ十一月迄ニ於テハ千六百万「ヤール」三千百万円ト昨年同期ヨリ二割六分ノ減退テアル

(3) 排貨關係輸入商品滯貨ハ綿布ノ九十万疋価格一千二百万

円砂糖六万俵約七十萬円ヲ重ナルモノトシ合計二千一、二百万円見当ニテ平年ニ比ヘ砂糖ハ積止メノ為半減ノ態ナル

モ綿布ハ倍加セラレ居リ季節關係モアリ荷渡処分難渋ヲ極メテ居ル

又紡績方面ハ是レ迄商況比較的順調ナリシカ最近受渡遞減

滯貨漸増氣味ニテ上海邦人紡十六番手及二十番手百六十一両同三十二番手单糸二百十三両ヲ唱ヘ同番手ノ支那紡績製品ニ比ヘ十六番手ニテ約十四両二十番手ニテ二十六両三十二番手单糸ニテ四十両以上ノ値開ヲ喰ヒ居ル有様テ成行氣遣ハル

(4) 排貨風潮ハ十一月頃ヨリ盛返シ險惡ノ度ヲ加ヘ市況益々

勢ニ似ス六月以後影響相當顯著ナルモノアリ即チ郵船ノ揚荷五月迄二十四万五千噸ニシテ昨年同期ヨリ七割增加、一昨年ヨリ三割増ノ好況ナリシカ六月ヨリ十二月迄六ヶ月間に於テ二十一万五千噸ト昨年同期ヨリ一割二分又一昨年ヨリ一割五分方落込メリ

(2) 輸入品中影響著シキハ砂糖ニテ五月迄輸入五十一万八千俵ト昨年及一昨年同期ニ比ヘ三割以上増加セシカ後六ヶ月約一万八千俵ト昨年及一昨年同期ニ比ヘ九割五分方ノ激減トナツテ居ル

次ハ海產物ニテ昆布、海參、鱈、貝柱等総計四万五千俵昨年同期ヨリ四分増加一昨年ヨリ四割五分ノ減少ナルカ六月以後六ヶ月間ニ於テ二万二千俵ハ昨年同期ノ五分ノ一、一昨年ノ十分ノ一ニ激減又塩鰐ハ今年入荷予想約五十万反ニ對シ一月ヨリ十一月迄入荷約二十万反ニ過キス尤モ魚獲高ノ關係ニテ昨年同期ヨリハ二割増加シ一昨年ヨリハ四割五

上 海 12月6日後発 本省 12月7日前着

#### 商電第七三号

(一) 其後排貨情況ヲ見ルニ我商品ノ對上海輸出ハ五月迄ノ好

春第三次國民代表會議ヲ控ヘ政局紛糾ノ兆アリ例年ノ如キ旧正前後ノ好商況期待出来ス當業者ノ苦痛漸増シツツアリノ關係ニテ昨年同期ヨリハ二割増加シ一昨年ヨリハ四割五不振之ニ加フルニ最近勃發セル當地阿片問題ヲ中心トシ來

杭州における排日運動は濟南事件の報復および對日經濟絕交を目標としていることについて

739 昭和3年12月7日 在杭州米内山領事代理より  
田中外務大臣宛（電報）

#### 杭州における排日運動は濟南事件の報復およ

本省 12月7日前着

第七六号 往電第七三号ニ關シ

本月四日ヨリ主ニ學生ヲ中心トシ排日運動起リ主トシテ濟南事件ノ報復及對日經濟絕交ヲ目標トシツツアリ然レ共單ニ宣伝演説及游行ヲナスノミニテ別ニ過激ノ舉動ニハ出テス現在ノ處秩序ハ保タレツツアリ但シ男女學生カ學業ヲ休ミテ該運動ニ從事シ且地方各県ニ漸次反日會ノ成立ヲ見ツツアルハ注意ヲ要ス御参考迄

北京ニ転電シ上海、南京ニ郵送セリ  
740 昭和3年12月8日 在福州西沢總領事より  
田中外務大臣宛(電報)  
漢口反日運動宣伝週間第一日目の状況について  
反日会に拉致された日貨取扱い中国人鄒行貴  
銃殺について

福州 12月8日後発 本省 12月9日前着  
漢口 12月10日後発 本省 12月11日前着

## 第一二二号

当地邦商広貫号馬尾出張所ノ名義ニテ日貨ヲ取扱ヘル支那人鄒行貴ナル者昨日同地ニ於テ反日会員八名ノ為「モーターボート」ニ拉致セラレ福州ニ向ヒタル旨店主大町ヨリ届出アリ昨日來交渉署ヲ經テ保護方要求中ノ處本八日ニ至リ鄒ハ途中鼓山下ニテ銃殺屍体トナリテ発見セラレ目下嚴重交渉中ナリ本件ハ日貨取扱支那商ニ一大脅威ヲ与ヘ取引一時杜絶ノ虞アルモノト思料セラル

北京、上海、南京、廈門ニ転電シ廣東、香港、汕頭、杭州、台灣、総督府ニ暗送セリ

741 昭和3年12月10日 在漢口桑島總領事より  
田中外務大臣宛(電報)  
漢口反日運動宣伝週間第一日目の状況について

## て

福州 12月8日後発 本省 12月9日前着  
漢口 12月10日後発 本省 12月11日前着

## 第四三一号

当地反日運動宣伝週ハ九日前總商會ニ於テ開会式ヲ挙行シタルカ主席団、宣伝員、執行監察委員ノ外軍政系各会代表者ノ出席アリ總主席萬鈞ノ開会ノ辭ニ次キ主席團員及宣傳委員等ノ講演アリ尚各級党部反日会、各学校、民衆團體員等約四百人ヲ各所ニ分派シ講演ヲ為サシメ又支那町目抜キノ場所ニハ反日宣伝ノ「バンナー」ヲ街上ニ横振リニシ各支那新聞ハ排日ノ標語ヲ掲ケテ徹底的反日運動ヲ諷歌シ宣伝員ハ氣勢ヲ揚クル為市内各所ニ宣伝「ビラ」ヲ撒布セルカ何等甲斐無ク第一日ヲ過セリ

北京、上海、南京へ転電セリ

742 昭和3年12月10日 在福州西沢總領事より  
田中外務大臣宛(電報)  
鄒行貴銃殺事件のため中國商は恐慌に陥り取引杜絶の状態について

福州 12月10日後発 本省 12月11日前着

## 第一二二号

<sup>(1)</sup>往電<sub>(七四〇文書)</sub>第一二二号ニ閲シ

八日以来省政府主席秘書(楊樹莊ハ土曜日ヨリ鼓山ニ登リ交渉員亦田舎ニ帰郷中)及公安局、高等法院主席檢察官ト談判セル結果ヲ綜合スルニ當局ハ鄒カ邦商ノ使用人ナリヤ否ヤノ問題ハ是ヲ顧ミス只本件ヲ法ニ照シテ処断スヘキ重

大案件トナシ司法権ノ發動ニ對シテハ反日会ノ為ニ何等掣肘セラレサルコトヲ確言スルニ一致シ又現ニ昨朝來檢察厅

ハ少クトモ屍体検証ニ着手シタルコトヲ確カメタルカ他方反日会ハ救國團ノ名ヲ以テ「流血ヲ見サレハ日貨ノ肅清ヲ達成スル能ハス」ト題シ福州反日運動ノ軟弱ヲ非難シ曩ニ

本官ノ要求ニ依リ当地公安局ニ預ケラレタル鄒ヲ釈放シタル事實ヲ攻撃シテ當局ハ豆腐ノ如ク弱腰ニテ見ルニ忍ヒ難

キカ故ニ彼ヲ銃殺セルコト  
従テ又一般奸商モ深ク戒ムルニ非サレハ引続キ此ノ手段ヲ敢行スヘキ旨ノ伝单ヲ昨日市中ニ撒布セリ是カ為支那商ハ一層ノ恐怖ニ陥リ昨日來既約品ノ引取拒絶及邦商ノ積止続出シ取引殆ト杜絶セリ

茲ニ於テ本官ハ速ニ取引ヲ回復スヘク有効ナル手段ヲ採ルヘク直ニ反日会ヲ解散シ且ツ一般ニ布告ヲ發スヘキ旨ヲ要求シタル處交渉員ハ最初ハ單純ナル私争<sup>(マニ)</sup>?問題ニシテ外交案件ニ非スト称シ次ニハ又今回ノ兇行カ反日会ノ所為ナリヤ否ヤモ判明セスト答ヘ最後ニハ領事ノ要求ニ依リ前記ノ措置ニ出ツルハ却テ反日会ヲ激昂セシムル惧アリ從テ反日会ノ所為ヲ確メタル上寧ロ自發的ニ政府當局ヨリ取締ヲ加フルコト妥当ナルヘシトテ前顧伝单ニ對シ極度ニ恐怖セル態度ヲ示シタルカ何レ本官ハ明日楊主席トノ會見ヲ待ツテ今後ノ対策ヲ講スヘキモ目下ノ處所證我方ノ要求ヲ容ルル模様見受ケラレス尚本件ハ本日内地税問題ニ關シ領事団会同ノ際話題トナリ英國領事ノ率先提案ニ基キ一同楊主席ニ會見ノ上嚴肅ナル警告文ヲ送ルコトニ協議一決セリ

743 昭和3年12月11日

在中國廬臨時代理公使より  
田中外務大臣宛(電報)

## 北京反日会の日貨検査ならび登記問題行惱み

の状況について

北 京 12月11日後発  
本 省 12月11日後着第一六八九号  
(七三二文書)  
往電第一六四二号ニ閲シ

当地反日会ハ七日各官衙及団体等二十一機関代表ノ連席会議ヲ開キ本月十五日天安門広場ニテ反日市民大会ヲ開クコトヲ決議シタルカ一方日貨ノ登記問題ハ其ノ後商民協会ノ強硬ナル反対ニ依リ条項ノ緩和ヲ余儀無クセラレ十日付ヲ以テ(一)登記期間ヲ十二月十五日迄延期ス(二)十一月十五日以前到着ノ日貨ハ救国基金ヲ免除シ百分ノ二ノ登記費ヲ徵収ス(三)同日前註文済ミ未到着ノ日貨ハ基金ヲ十分ノ九減額ス(四)十二月一日以後註文ノ分ハ相対禁止品ノ外全部没収ス等規定セル補足登記条例(郵報ス)ナルモノヲ発表セリサレト協会側ハ登記費ヲ反日会ノ費用ト為スコトヲ承認セス又

900

救国基金ノ共同保管ヲ主張スル等依然反対シ居ル為検査及登記等実際問題ハ何レモ行惱ミノ状態ニ在リ尚邦商側ハ今日迄ノ處未タ大ナル影響ヲ蒙ラサル処当地西山ニ炭坑ヲ經營セル中日鉱業会社ハ唯一ノ得意先タル電燈会社及支那人取引店ヨリ反日会ノ指嗾ニ依リ一斉ニ買炭契約ノ解除ヲ受ケタル為全ク販路ヲ失ヒ頗ル窮状ニ陥レリ

天津、上海、南京へ転電セリ

744 昭和3年12月11日 在福州西沢総領事より  
田中外務大臣宛(電報)

## 省党部は鄒行貴銃殺事件への干与を否定について

福州 12月11日後発  
本 省 12月12日前着第一一二三号  
(四二文書)  
往電第一一二一號ニ閲シ

楊主席ハ今朝來本官トノ会見ヲ忌避セル処間モナク交渉署総務科長來訪語ル処ニ依レハ楊ハ既ニ公安局ニ命シ犯人ノ逮捕处罚方手配済ナレハ会見ハ数日後ニ願度ク此ノ際ハ外

部ニ憚カル処アリト述ヘタルニ付本官ハ法治國ノ面目上本件カ國法ノ処断ヲ免レサル事ハ勿論ナレハ唯本官ノ要求スル処ハ政府不取締ノ結果本件ヲ惹起シ貴我ノ國交ヲ甚シク傷ケタル点ニ關シ昨日來外交方面ノ救済解決ヲ求メツツアル次第ナリト述ヘ結局交渉員本日楊ト協議スヘキ事ヲ約シ本官トノ会見ハ延期セリ

午後省党部ニ宣伝部長方治(東京高師出身)ヲ往訪シ今回ノ兇行カ省党部ノ諒解ニナルモノナリト云フ噂ヲ確メタル処先方全然之ヲ否認シ且反日会解散ノ要求ニ對シテハ調査ノ結果ヲ俟チ解散若クハ改造ヲ命スル様協議スヘシト答ヘタルカ(政府ハ此ノ種權限ナシト言明セリ)他方彼ハ例ノ伝單ニ救国団トアルヲ指摘シ或ハ反革命党ノ為ニスル画策ナルヤノ疑モアリト述ヘタルニ付本官ハ多数ノ証拠ヲ挙ケ之ヲ反駁シ置キタリ

在支公使、上海、南京へ転電セリ  
廣東、廈門、汕頭、杭州、台灣總督へ暗送セリ

吉林省城中国学生等の日貨排斥について

機密公第七〇二号

(12月21日接受)

昭和三年十二月十二日

在吉林

外務大臣男爵 田中 義一殿

吉林省城支那学生等ノ日貨排斥計画ニ閲スル件

十一月八日当地学生等ノ易幟運動發生以来吉林省府ノ學生運動ニ對スル取締厳重ヲ極メ居ル為表面ハ頗ル靜穩ナルモ内面的ニハ学生ノ排日思想高調ノ傾向アル処當館諜報者ノ報告ニ依レハ省城中等以上ノ学生等ハ十二月二日各学校毎ニ代表一名ヲ推举シ法政専門学校ニ秘密集合シ日貨排斥ニ閑シ協議ノ上大要左記各項ノ申合セヲ為シタル趣ナリ

左記

一、省城各学校学生ヲ以テ「吉林学生提唱国貨会」又ハ「学界維護国貨会」ヲ組織スルコト

二、吉林ニ於ケル小学校以上ノ生徒ヲ会員トシ会費ヲ徵収

会員ノ日用品(学生服、便服、文具、紙、筆、運動具

745 昭和3年12月12日

在吉林川越總領事より  
田中外務大臣宛

等) ハ日貨ヲ使用セサルコト

三、各学校生徒ハ各家庭ニ於テ日貨排斥、国貨購買及ヒ日本人ノ東三省侵略情況ヲ極力宣伝スルコト

四、各学校ハ同窓生ニ対シ入会ヲ勧誘スルコト

五、冬季休暇ヲ利用シテ帰郷スル学生ハ同県学生ト連絡シテ一致ノ行動ヲ取り目的ノ貫徹ニ努ムルコト

六、冬季休暇満了後各学生ノ帰吉ヲ俟チ再ヒ確定方針及規則章程等ヲ規定スルコト

右報告ス

本信写送付先 北京、奉天、哈爾賓、間島、長春

在天津加藤總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

746 昭和3年12月13日 反日会租界より中国街へ搬出する貨物検査を実施について

天津 12月13日後発  
本省 12月13日後着

第三四五号

往電第三四〇号ニ閔シ

(一)追加登記期限ハ十二月十日ヲ以テ満了セルカ十一月一日以来同日迄登記数ハ千八百五十件ナリトニコトニテ右ノ外日仏租界内ニ於ケル登記者二十余件アリタル趣ナルモ反日会ハ租界内支那商店ニ付検査ヲ強行スルコト覚束ナク結局登記ノ実行ヲ期シ難シトノ見地ヨリ右租界内登記ヲ取消スコトトシ専ラ各租界ト支那街トノ境界線ニ派遣セル検査員ヲシテ租界ヨリ支那街ヘ搬出スル貨物ヲ嚴重検査セシムルコトニ努力ヲ払フト共ニ支那人ヲシテ租界内ニ於テ日貨ヲ購買セシメサル様種々手配シ居ルトノコトナリ

(二)当地反日会ハ床次総裁来津ノ日ヲ俟チ反対市民ノ示威游行ヲ挙行スル筈ニテ目下準備中ナル趣ナリ

北京、上海、奉天、青島、濟南、南京、漢口へ転電セリ

747 昭和3年12月13日 在福州西沢總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

鄧行責銃殺事件ならびに日貨排斥に關し楊省  
政府主席に警告申し入れについて

福州 12月13日後発  
本省 12月14日前着

第一一二四号

往電第一一二三号ニ閔シ

本日楊主席ニ會見ノ上我方ノ要求ヲ繰返シ政府不取締ノ責

任ヲ難詰シタル処楊ハ本官ノ言ヲ以テ事件ヲ殊更重大視セムトスルモノナリトテ犯人ノ逮捕ニ関シテハ既ニ關係当局

ヘ命令シ取調ノ結果ヲ俟ツテ何分ノ处置ヲ取ルヘキ旨ヲ答ヘ其ノ既ニ取レル具体的処分ヲ追及スルモ応答ヲ避ケ唯暫

ク結果ヲ待タレ度シト述ヘタリ又楊ハ反日会ハ本件カ同會員ノ所為ニ非サル事ヲ力説シ居ル旨付言セルニ付昨日邦貨

ヲ積メル小艇カ馬尾付近ニ於テ持兌器ノ反日会員ニ抑留セラレ舟諸共焼払ハレタル疑有ル事実(本日警察官ヲ指揮シ

本官ノ請求ニ依リ昨日入港セル軍艦江風ト協力捜査セルモ依然行方不明)ヲ指摘シ到底無下ニ結果ヲ待ツ能ハサルニ

付直ニ反日会ノ嚴重彈圧方ヲ要求シタル処此ノ民衆ヨリ日本側ニ屈服スルモノト看做サルルコトヲ虞ルル口吻ヲ漏シ

何等積極的取締ヲ加フルコトヲ言明セヌ茲ニ於テ本官ハ右ノ如ク邦人ニ対スル迫害ノ今尚続出スル以上遂ニ邦商側ニ

748 昭和3年12月14日 在漢口桑島總領事より  
田中外務大臣宛  
機密第八八六号  
排日貨運動による邦商の被害事件報告  
(12月27日接受)

昭和三年十二月十四日

在漢口

總領事 桑島 主計(印)

外務大臣男爵 田中 義一殿

排日貨運動ニ依ル本邦商ノ被害事件報告ノ件

当地本邦商カ反日会ノ為蒙リタル被害事件ハ十一月八日付機密第七七〇号ヲ以テ報告致シ置キタルカ其ノ後交渉経過並発生事件ヲ左記ノ通り統報ス

記

## 一、前田一二洋行（機密第七七〇号参照）

其ノ後屢次交渉シタルモ反日会ハ依然豊記号ノ貨物ナリト主張シテ其ノ返還ヲ肯セサルノミナラス公安局巡査ヲ毎日豊記号ニ派シ罰金ヲ強要シ来ルヲ以テ豊記号ハ衛戍司令部方面ニ運動ノ結果漸ク反日会ニ対シ少額ノ罰金ヲ支払フコトニ話合ヲ付前田一二洋行トハ從来ノ取引関係モ有ルヲ以テ該綿布ヲ買取りタルコトニシテ右代金（約千両）ヲ支払度キ旨十一月二十八日書面ニテ申越シ來リ結局前田洋行ハ貨物代金ヲ受取りテ本件ノ解決ヲ見タリ

## 二、泰安紡績事件（機密第七七〇号参照）

其ノ後屢次館員ヲ派シ或ハ公文ヲ以テ嚴重抗議シタルモ更ニ其ノ返還ヲ肯セサルノミナラス新泰五金号ハ公安局巡査ノ為毎日罰金納付ヲ強制セラレ遂ニ已ムヲ得ス九十元ノ罰金ヲ納メタルモ勿論該商ハ該綿布ノ自商貨物タルコトヲ認メタルモノニ非サルヲ以テ特ニ該貨ハ自商貨物ニ非サル旨声明書ヲ発シ其ノ他ノ事情ヲモ説明シテ交渉シタル結果貨物ヲ返還シ本件ハ解決シタリ

## 三、泰信洋行事件（機密第七七〇号参照）

其ノ後取引先支那商ハ反日会ヨリ非常ナル圧迫ヲ受クルヲ以テ遂ニ十一月中旬罰金十二弗ヲ支払ヒ物品代価（約二百弗）ヲ支払ヒ該貨ヲ買取ルコトトシテ解決シタリ

## 四、榮信洋行事件（機密第七七〇号参照）

同シク罰金二十弗ニテ貨物代金（約六十弗）ヲ支払ヒ十一月中旬解決セリ

## 五、日比野洋行事件（機密第七七〇号参照）

同シク罰金六弗四十仙ニテ貨物代金（約二十弗）ヲ支払ヒ十一月中旬解決セリ

六、伊藤洋行事件

十一月十五日伊藤洋行店員ハ第二特別区日清汽船会社ノ倉庫ヨリ綿布四箱ヲ同洋行ニ向ケ運搬中第二特別区巡査ニ差押ヘラレ通行証無キ故領事館ノ証明書ヲ要求シタル趣ナルヲ以テ直ニ公文ヲ以テ交渉署ヲ通シ該貨物积放方申シ入レタル處漸ク十一月三十日第二特別区警察署ヨリ交渉署ヲ通シ右积放ノ旨回答シ來タリ本件ハ解決シタリ

## 七、信和眼鏡公司事件

在上海本邦商信和眼鏡公司ハ店員胡某ヲ当地ヘ出張セシメ支那街新旅館ニ投宿シ居タル処十一月十三日反日會員旅館ニ來リ胡ノ所持商品（価格約六十元）ヲ沒收シ次テ其ノ帳簿ヲ検査シ眼鏡壳上高七百元余有リシヲ知リ罰金二百元ヲ強制徵收セラレタル趣ナルニ付交渉員ニ対シ公文ヲ以テ嚴重抗議シ置キタリ其ノ後胡ハ万事ヲ友人莊ニ托シテ上海ニ帰リタルカ反日会ヨリ莊ニ

対シ貨物丈ヶハ返還スル旨通知アリタルヲ以テ莊ハ之ニ対シ如何スヘキヤヲ上海信和洋行宛問合セ中ニテ本件ハ未解決ナリ

## 八、自動車抑留事件

十一月二十八日阿部市洋行カ福田旅館ノ自動車ヲ借りテ使用シ居タルヲ同洋行取引先支那商カ他ノ邦商カラ購入シタル棉布ヲ該自動車ヲ流用シテ支那街ニ運搬セムトシタルヲ途中第三特別区ニテ反日会ノ為自動車ト共ニ總商會ニ抑留セラレタルヲ以テ直ニ當館巡査ヲ總商會ニ派シ自動車引渡方嚴重交渉セシメタル結果翌日返還シ來タリ

## 九、泰信洋行事件

十一月二十一日泰信洋行（前掲三ト同一洋行）ハ店員支那人ヲシテ電氣器具十八打（価格約五十元）ヲ支那商ニ売却目的ヲ以テ運搬途中第三特別区ニテ反日会ノ為總商會ニ抑留セラレタルヲ以テ公文ニテ交渉署ニ照会ノ結果反日会ニ於テ更ニ法貨物ノ所有者ニ付調査スル旨回答シ來タリテ本件ハ未解決ナリ

## 一〇、鄭州桐材業者事件

鄭州桐材業者中、國重洋行、南海公司、高橋洋行、清桐洋行等四洋行ハ三年前ニ買入レタル桐材カ支那内乱ノ為運出セラレサリシ處過般漸ク河南省開封交渉員ヨリ該桐材ノ運搬護照ヲ取付ケタルヲ以テ該商等店舗内ニ在リシ桐材（価格約四万円）ヲ鄭州駅迄運出シタルトキ反日会ハ運送屋ヲ罰シ一方苦力ノ手ヲ差シ止メタルヲ以テ公安局及党部ニ交渉シタルモ更ニ効果無ク桐材ハ鄭州駅構内ニ置キタル儘如何トモスル能ハサル状態トナリタルヲ以テ國重洋行ハ其ノ代表者トシテ十二月三日來漢シ交渉方願出シタルヲ以テ直チニ第二集團軍駐漢弁事処々長ヲ通シ在南京馮玉祥ヨリ邦商ヲ防碍

セサル様河南各界ニ電命方電報ヲ以テ依頼スルト共ニ

貨物運送護照ヲ發行セル責任者開封交渉員ニ對シテモ

右ノ趣電報シ置キタルカ方処長ヨリ十二月十三日馮玉

祥ノ來電ヲ示シ越シ右ニ依レハ馮ハ河南當局ニ右実情

調査報告方電命シタル趣ニテ本件ハ目下ノ處未解決ナ  
リ

### 一一、東孚洋行事件

十二月五日東孚洋行ハ苦力ヲシテ煙草紙（価格約三百元）ヲ運搬途中第三特別区巡捕ノ為差シ止メラレ同警察署ニ貨物ヲ抑留サレタル旨六日申出タルニ付館員ヲ同警察署ニ派シ警察官カ邦商貨物ヲ抑留スル不法ヲ嚴重申シ入レタル處直ニ貨物ヲ返却シ本件ハ解決セリ

以上

### 本信写送付先

在支公使 上海總領事 南京領事

749 昭和3年12月15日 在福州西沢總領事より  
田中外務大臣宛（電報）

### 各国領事は楊省政府主席に連名にて鄧行貴銃

ノト思料セラル尚當方ニ於テハ証拠蒐集中目下付近搜海中ナリ（被害額ハ塩鱈、鮑ヲ合セ約二千七百元）

前電ノ通転電セリ

750 昭和3年12月17日 在中國堀臨時代理公使より  
田中外務大臣宛（電報）

### 北京における全市反日大会開催の模様について

北 京 12月17日後発  
本 省 12月17日後着

### 第一七〇四号

往電第一六八九号末段ニ関シ

ケル日本ノ鉄道建設拒絶、段祺瑞通緝、張學良征伐、日貨不買命令発令方中央ニ上申スルコト等十二項ノ決議ヲ為シ終リテ十二時頃ヨリ群集ヲ三隊ニ分チ各排日標語ヲ高唱シツツ市内ノ游行ニ移リ指定地ニ至リ散会セリ尚決議中ニ王正廷、宋子文ノ罷免請求、政治分会ノ取消及西山派居正並謝持ノ打倒ノ數項アリ一般ノ注意ヲ惹ケリ

一、当日警備司令部所属ノ軍隊及公安局巡警ハ会場ヲ二重ニ囲ミテ外人ノ入場ヲ禁シ一方東交民巷各入口及東單牌樓付近日本人居住地方面ニハ多數ノ巡警カ配置セラレ又大通ノ日本商店ニハ予メ支那巡警ヨリ特ニ注意ヲ与フル等会場及市内ノ警戒頗ル周到ナリシ為集会及游行共比較的秩序保タレタルカ右開会中狀況観察ノ為平服ニテ入場シ居リタル我カ憲兵三人ハ群集ノ為発見セラレ暴行ヲ受ケムトシ其ノ中二名ハ逃レ帰リシモ一人ハ取締巡警ノ為ニ救出セラレ警備司令員及警察署長保護ノ下ニ即時當館警察ヘ送還セラレタリ本件ニ付テハ目下詳細取調中ナル

説アリ次テ主席ノ提案ニ依ル中日不平等条約取消、參戰、西原兩借款否認、朝鮮民族獨立援助等ノ諸項及東三省ニ於

殺事件責任追及の公文手交について

福 州 12月15日後発

本 省 12月16日前着

### 第一二五号

〔七四七文書〕

### 往電第一二四号ニ関シ

十三日各国領事ハ本官退出後直ニ楊主席ニ面会シ本件犯人ノ逮捕处罚並暴力団ノ取締ヲ要求セルト同時ニ本件カ畢竟領事團累次ノ抗議ニ拘ラス過激分子ノ跳梁ヲ抑制セサリシ政府ノ失態ニ帰着スルモノニシテ居留外国人一般ノ治安ニ關スル問題ナルコトヲ力説セル連名ノ公文ヲ手交セル處楊ハ大体本官ニ対スルト同様ノ回答ヲナシタル上現在ノ反日會ハ改造シタキ希望アルモ元来全國的ノモノナレハ到底自分ニ於テ之ヲ解散スルコト能ハスト明言セル趣ナリ

尚同電中段邦商貨物ノ押奪行方不明ノ件ニ関シテモ目下嚴重交渉中ナル處其ノ後支那側ノ調査モ的確ナル証跡ナキ模様ナリ尤モ交渉署科員ノ言ニ依レハ水上公安局ヨリハ船諸共焼棄セラレタルモノト認メラル旨非公式ニ一応ノ報告アリタル趣ナルカ一邦商顧客支那人ハ当日船ノ焼カレ乍ラ漂流セルヲ目撃セリトノコトナレハ貨物ノ焼棄ハ疑ナキモ

天津、上海、南京、奉天へ転電セリ

751 昭和3年12月17日 在福州西沢總領事より  
田中外務大臣宛(電報)  
艇舟焼失ならびに鄒行貴銃殺事件の交渉振り  
について

福州 12月17日後発  
本省 12月18日前着  
(四文書)  
往電 第一二五号後段ニ関シ其ノ後艇舟ノ焼残リタル部分ヲ  
発見シタル為去ル十三日當館警察官カ反日会峽兜検査所ヨ  
リ押収シタル日誌ニ依リ判然シタル検査員ノ氏名ヲ列記シ  
テ之ヲ証拠トシ犯人ノ処罰並ニ損害賠償ヲ要求申ナルカ交  
渉員ハ本件ノ真相右ノ如クナル以上省政府ハ恐ラク責任ヲ  
免レ難キモノト思料スルモ手続上荷主ヲ確カムル必要アル  
ニ付楊主席ト話合ノ上何分ノ回答スヘシト答ヘタリ

次ニ往電 第一二四号ニ関シ張主席檢察官ノ談ニ依レハ公安  
局ハ五日以内ニ犯人ヲ検挙スヘキ命令ニ接セル趣ナルモ未  
タ一人ノ嫌疑者スラ逮捕セラレス責任當局亦躊躇逡巡ノ態  
度歴然タルモノアルニ付其ノ後方宣伝部長並ニ嘗テ林壽昌  
ノ部下ニシテ現在ノ反日会ニ多数ノ知友ヲ有スル者ニ就キ  
リ委細公信

北京、上海、南京へ転電セリ  
(マニ)  
ハ關係(脱) 小学生ヲ交ヘタル團体游行或ハ女學生ノ排日  
新劇等ニシテ連日反日標語ヲ印刷セル宣伝「ビラ」ヲ撒布  
シ排日氣勢ノ高調ニ努メタルモ一般民衆ハ殆ト無関心ノ状  
況ニシテ從テ邦商ハ之力為格別ノ打撃ヲ蒙ル事ナク経過セ  
リ委細公信

753 昭和3年12月18日 砂田(實) 天津日本人商業會議所会  
田中外務大臣宛(電報)  
天津 12月18日後発  
本省 12月18日後着

## 反日会の活動に嚴重抗議方要望について

天津排日運動者ハ市党部ノ後援ノ下ニ反日会ナル團体ヲ組  
織シ十一月一日ヨリ其ノ手製ノ日貨登記条例ヲ天津全市ノ  
支那商民ニ強制シ救國基金ト称シ日貨ニ対スル不法ナル税  
金類似ノモノヲ徵收シ又何等法令タル正当ノ權威ナキ懲弁  
奸商条例ヲ以テ支那商民ヲ強迫シ支那街各商店ニ検査隊ヲ  
派シテ臨検シ所藏ノ日貨ヲ沒收シ罰金ヲ課シ遂ニハ十二月

752 昭和3年12月17日 在漢口桑島總領事より  
田中外務大臣宛(電報)  
反日宣傳週間に一般民衆はほとんど無関心の  
状況について

漢口 12月17日後発  
本省 12月18日前着  
(四文書)  
往電 第四三一号ニ關シ  
反日宣傳週ハ十五日ヲ以テ終了セルカ其ノ催ノ主ナルモノ  
ノ部下ニシテ現在ノ反日会ニ多数ノ知友ヲ有スル者ニ就キ  
リ委細公信

十一日ヨリ租界ニ經濟封鎖ヲ為ストシテ日支兩界ノ総テ  
ノ通路ニ歩哨的検査員ヲ配置シテ租界ヨリ支那街ニ入ラン  
トスルモノヲ検査シテ其ノ日貨ト認メラルモノハ總テ之  
ヲ没收シ往々邦商所有ノ貨物ヲモ差押ヘ反日会ニ留置スル  
ニ至レリ  
十二月九日突発ノ中華滙業銀行改組問題モ畢竟排日運動者  
ノ暗中飛躍ト支那側幹部及株主ノ一部之ニ策応セル結果ニ  
シテ其ノ海外ニ於ケル我經濟的信用ヲ破壊シ又北支經濟界  
ヲ攪乱スルコト事態重大ナリト認ム  
吾人ハ從来隱忍ニ隱忍ヲ重ね來レルカ輸入日本品及在支邦  
人工場製品ニ対シ事實上交戰國ニ対スル敵貨ノ取扱ヲ公然  
強迫スル團体アリテ之ヲ市党部カ後援シ支那地方官憲モ民  
衆運動ト称シテ承認シ居レルハ其ノ國際間ノ法規慣例並ニ  
世界ノ公道ニ反スル余リノ暴状ニ最早默認スルニ忍ヒス又  
經濟上自然ノ組織及統制ヲ無残ニモ破壊シ行ク暴挙ニ対シ  
当地方經濟生存上最早傍観スルニ忍ヒス依テ此ノ際支那官  
憲ノ猛省ヲ促シ日支交渉牽制ヲ目的トスル排日運動ハ挑戦  
的危險ヲ抱有シ日支交渉上寸効ナク却テ事態ヲ悪化逆転セ  
シムル非愛國的運動ナルコトヲ覺醒セシメ反日会カ喧伝的

政治運動ノ範囲ヲ越エテ直接行動ニ出ツルヲ國法ヲ以テ嚴禁スル様嚴重抗議相煩度シ當所役員会ノ決議ニ依リ此段請願ニ及フ謹テ閣下ノ御清鑑ヲ仰ク

十二月十四日

754 昭和3年12月20日 在福州西沢總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

楊主席が鄒行貴銃殺事件犯人の一部逮捕を内告について

|    |          |
|----|----------|
| 福州 | 12月20日後発 |
| 本省 | 12月21日前着 |

第一二七号  
(七五二文書)  
往電第一二六号ニ閲シ

交渉員ハ楊主席病氣ノ故ヲ以テ回答ヲ遷延セル折柄楊ノ急遽赴寧ヲ耳ニセルタメ昨十九日夜會見ヲ求メ兩事件ノ解決方ニ閲シ我方ヘ何等ノ挨拶ヲ為サヌシテ離任スルコトノ不誠意ヲ責メタル處楊ハ當分極秘ニ願度シトテ今回ノ事件カ

往電第一二六号一味ノ仕業ナルコト又殺人事件嫌疑者八名中(内二名ハ逃亡セリ)林大洪(反日会調査部長)ヲ十九

755 昭和3年12月20日 在漢口桑島總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

漢口の反日宣伝週間は不振に終始したが實際上の排貨運動は手を緩めおらざる状況について

轉電先前電ノ通

過般南京ニ於ケル学生暴動以来当地北京、精華、朝陽三大学生等ヲ含ム共產黨員ハ急ニ活動ヲ始メ殊ニ反日運動盛トナリタルニ乘シ十五日ノ反日大会前後ヨリ京津及保定方面ニ不穩ノ計画アリシ為地方當局ハ極力之カ鎮压防止ニ努メ嚴重手配中ナリシカ十九日當地ニ於テ十五名又數日前保定ニ於テ三名ノ共產黨員ヲ逮捕シタル由ナリ尚蔣介石ハ代理總司令商震ニ對シ共產運動取締方嚴命シ之カ費用トシテ十萬元支出シタル旨伝ヘラル委細郵報

上海、天津へ転電セリ

第四四七号  
(七五二文書)

往電第四四二号ノ通當地反日會ノ反日宣傳週ハ極メテ不振裡ニ終始シタルカ實際上ノ排貨運動ハ依然手ヲ緩メス今回反日會ハ支那紡績筋ノ運動ニ依リ棉花問屋ニ対シ邦商ニ棉花ノ不売ヲ命シタル為泰安紡績ノ如キハ支那商人名義ノ下ニ漸ク原棉供給ヲ得ツツアリ又反日會ハ本月十九日付ヲ以テ各會ニ対シ本邦汽船ノ不搭乗方通告セリ

北京、上海、南京へ転電セリ

756 昭和3年12月21日 在中國臨時代理公使より  
田中外務大臣宛(電報)

京津および保定方面の不穩計劃に関連し共產

党員逮捕について

|    |          |
|----|----------|
| 北京 | 12月21日後着 |
| 本省 | 12月21日後着 |

日逮捕セルコト並ニ省党部モ近ク反日会ヲ改組スヘキコトヲ打明ケタリ依テ本官ハ既往ノ生温キ手段ヲ繰返スニ非スヤト反問シタル處從前政府ノ態度ハ彼等ヲ善ニセントスル老婆心ニ出テタルモ今回ハ国交ニ累ヲ及ホスモノト認メ断然決意シタルモノナレハ充分安心セラレタシト答ヘタリ尚本官ハ本日公安局並ニ交渉署ニ就キ本件事実相違ナキコト將又引続キ多數ノ検挙ヲ見ルヘキコトヲ確メタルカ他方ニ於テ今回政府ノ断乎タル処置カ中央ト打合ノ結果ト認メラル節アルニ顧ミレハ相當真剣ナルモノト察セラルルノミナラス他面右犯人ノ逮捕カ反日運動ニ一大痛撃ヲ与ヘ延テ日支取引ノ恢復ヲ促進スルコト疑ナキモノト思料セラル因ニ楊ハ裁兵問題行詰ニ閲シ中央ト打合ノ為本日出帆ノ福建丸ニテ赴寧セリ

前電ノ通當地反日宣傳週中支那街方面ニ反日標語実ニ數十種ヲ貼付シタルカ最近武漢公安局長余希純ハ所属各公安局

第四四五号

757 昭和3年12月21日 在漢口桑島總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

武漢公安局長反日宣傳週間に反日標記撤去

を指示について

|    |          |
|----|----------|
| 漢口 | 12月21日後発 |
| 本省 | 12月22日前着 |

局長及各警察署長ニ命シ右標語ヲ一律除去セシム且ツ今後  
巡警ヲシテ省、市両党部ノ承認ヲ経サル標記ヲ貼付シ伝單  
ヲ撒布スル事ヲ厳重取締ラシムル事トセリ右ハ探聞スルニ  
近來共産党、安福系等現革命反対分子ノ之ヲ利用シ外交関  
係ヲ紛糾セシムルカ如キ策動ヲ防止スル目的ヲ以テ中央ヨ  
リ武漢政治分会ニ命令シ来レル結果ナリ

北京、上海、南京へ転電セリ

758 昭和3年12月23日 在蘇州岩崎領事より  
田中外務大臣宛（電報）

蘇州における護憲反日会主催の反日宣伝大会  
について

第四三号 蘇州 12月23日後発  
本省 12月24日前着

第四三号

当地護憲反日会ハ曩ニ全国反日会ノ通令ヲ奉シ本月十五日  
城内公共体育場ニ於テ反日各大宣伝大会ヲ行ヒ次テ反日游

上海、南京ニ暗送セリ

北京ニ転電セリ

メラレタリ  
今回ノ反日大会ニ関シテハ當地官憲ニ於テ充分取締ルヘキ  
ニ付誤解ナキ様願度旨數日前交渉員ヨリ本官ノ諒解ヲ求メ  
來リタルカ事実公安局ノ警戒振ハ相当嚴重ナリシモノト認

メラレタリ  
行挙行ノ筈ナリシカ實行ニ至ラス昨二十二日午後一時ヨリ  
開会ノ運ヒトナリタリ今次ノ催ニ就テハ予テ宣伝業々シカ  
リシノミナラス当日ハ早朝ヨリ宣伝隊ノ活躍アリタルニ顧  
ミ多少ノ氣勢ハ挙ルヘシト觀測サレタルカ会場ニ參集シタ  
ル者午後二時半頃迄ニ各学校、公会、党部等十三ヶ團体代  
表並ニ有志三百數十名ニ過キス折角制定サレタル口号ヲ叫  
フ者モナク全ク緊張ヲ欠キ市政府県党部總工会ノ泣事演説  
ヲ土産ニ午後四時閉会次テ三々五々市中游行ニ出掛ケタル  
者モアリタルカ大部分ハ其ノ場ニテ解散シタリ

# 一〇 中国外交関係雑纂

759 昭和3年1月17日 在奉天蜂谷總領事代理より  
田中外務大臣宛

ランプソン英國公使と劉尚清奉天省長との会  
見について

機密公第三五号 (1月21日接受)

在奉天

總領事代理 蜂谷 輝雄 (印)

外務大臣男爵 田中 義一殿

在支英國公使ト劉省長トノ会見ニ關スル件

本件ニ關シ當館警察情報左ノ通何等御参考迄報告ス

記

夫人ノ帰國ヲ見送ノ為過日過奉哈爾賓ニ赴キタル英公使ハ

昨十二日午後一時着奉直チニ英領事館ニ入り少憩後午後三

シ近來新聞ニ依レハ東三省カ露國ト隣接シ居ル關係上常ニ